【資料一覧】

○資料１　　維持系事業の新規評価マニュアルから、長寿命化計画等に基づく事業実施に伴う新規評価マニュアルの廃止について
（①　道路課　橋梁長寿命化事業、橋梁維持補修事業）
（②　まちづくり推進課　都市公園事業）

○資料２－１　平成 25 年度 2 月補正予算
平成 26 年度当初予算
平成 26 年度 6 月補正予算
　→新規評価実施箇所数一覧(整備系・維持系)

○資料２－２　平成 26 年度 6 月補正予算　新規評価実施箇所一覧表・調書(整備系)
○資料２－３　平成 25 年度 2 月補正予算　新規評価実施箇所一覧表
平成 26 年度当初予算　新規評価実施箇所一覧表
（整備系　予算化見送り）
○資料２－４　平成 26 年度 6 月補正予算　新規評価調書(維持系)

○資料３－１　事後評価対象箇所一覧　（対象事業：平成 19 年度事業完了分）
○資料３－２　簡易事後評価結果一覧表（対象事業：平成 19 年度事業完了分）
簡易事後評価結果分析表

○資料４　　公共事業の効果等について
○資料４－１　まちづくり推進課　街路事業【鹿島駅城内線(さくら通り)・井手西葉線】
○資料４－２　農 山 漁 村 課　中山間地域総合整備事業【三瀬地区】
○資料４－３　道　　路　　課　道路事業　道路改良事業【国道 204 号佐志バイパス】

資料　1

維持系事業の新規評価マニュアルから、長寿命化計画等に基づく事業実施に伴う新規評価マニュアルの廃止について

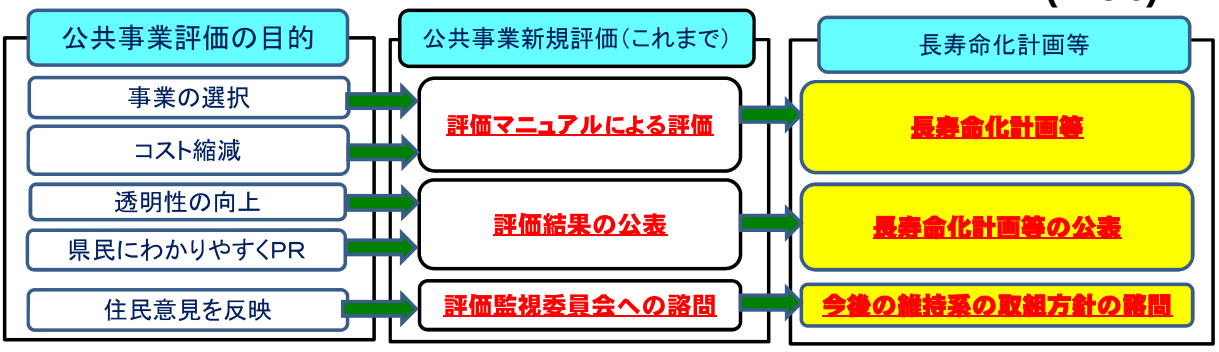
【対象事業：維持系　維持管理事業】

①　道路事業（橋梁長寿命化・橋梁維持補修事業）

②　都市公園事業

維持系事業の「新規評価」から「長寿命化計画等」への移行について

(H23.9)



長寿命化計画等による事業実施であっても、これまでの公共事業新規評価の目的は担保される。

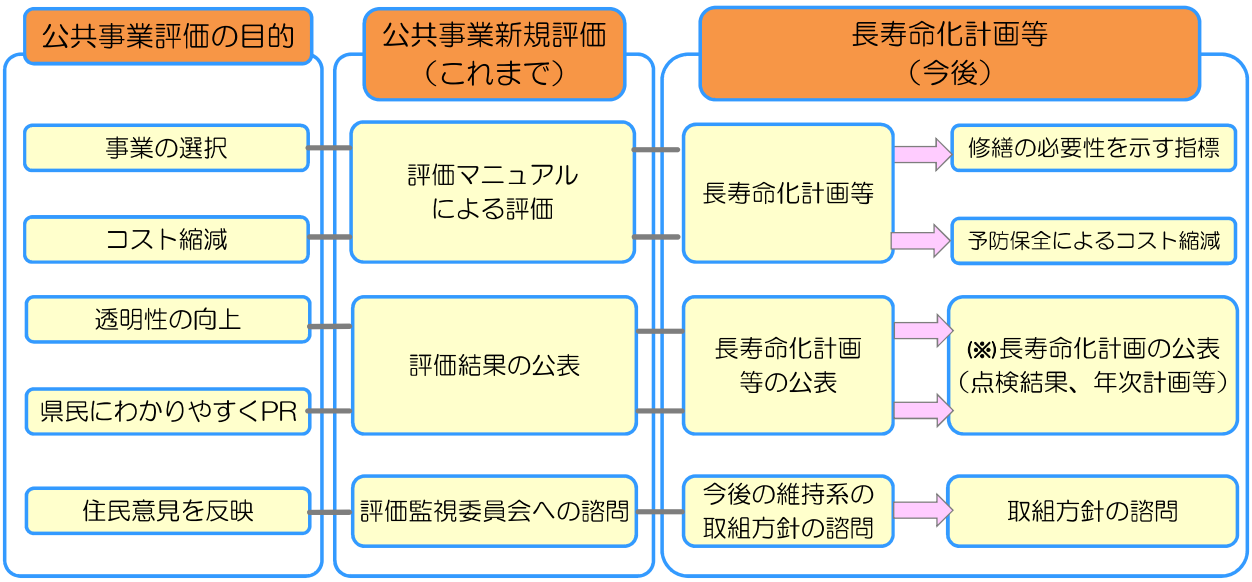
維持系については、計画等を諮ったうえで、公表したものから順次、新規評価マニュアルを廃止

※ アセットマネジメント以外の維持管理の計画や方針等の具体的な公表の仕方については、今後、関係課と調整していく。

1

維持系事業の「新規評価」から「長寿命化計画等」への移行について

(H26.9)



(※)公表した長寿命化計画の内容については、適宜時点修正を行う。

2

新規評価マニュアルから橋梁長寿命化修繕計画に基づく維持管理への移行について【道路課】

対象事業：維持系【維持管理事業】
橋梁（長寿命化・維持補修）事業

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

■目次

1．目的

2．橋梁補修事業の新規評価マニュアルの現状について

3．佐賀県が管理する橋梁について

4．橋梁長寿命化修繕計画について

5．長寿命化修繕計画に基づく維持管理への移行について

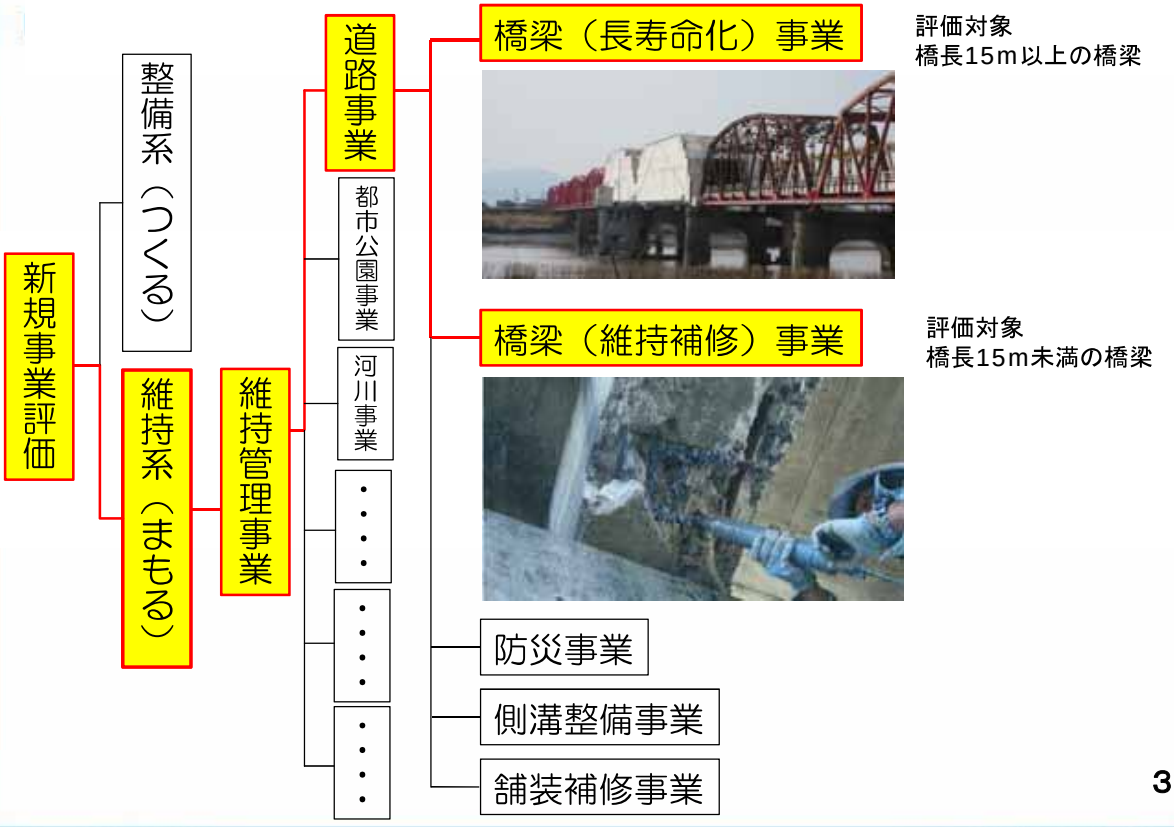
SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

1．目　的

道路橋梁については、すべての橋梁について長寿命化修繕計画の策定が完了したため、今後、新規評価マニュアルによる事業評価から橋梁長寿命化修繕計画に基づく維持管理へ移行することの説明。

SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

2．橋梁補修事業の新規評価マニュアルの現状について

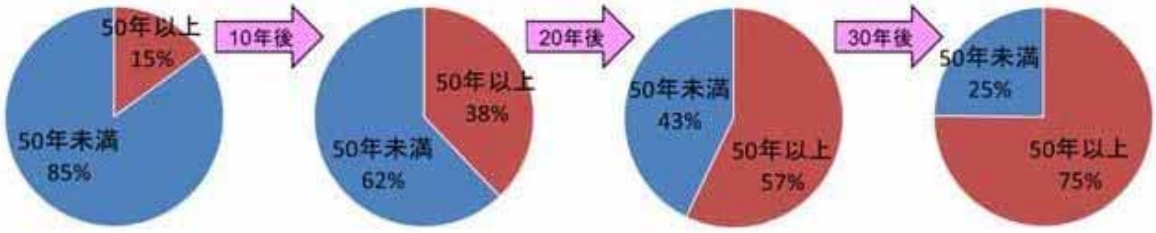


SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

3．佐賀県が管理する道路橋について

１）橋梁数
①橋長15m以上（669橋）
②橋長15m未満（1,763橋）　合計2,432橋（H26.4現在）

２）橋齢の推移



橋齢50年を超える橋梁数は、現在の15%から３０年後に75%と急速に増加します。

SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

4．佐賀県橋梁長寿命化修繕計画について

１）計画策定の背景及び目的
橋梁の急速な高齢化や税収の減少傾向からくる将来への不安
◆大規模な修繕・架け替えで生じる膨大な財政支出
◆大規模な修繕・補強工事に伴う交通規制（社会的損失）
◆落橋等による人命に係る事故

⇩ 計画的な維持修繕（長寿命化修繕計画）

信頼性の確保
◎安全・安心の確保　◎財政支出の抑制（コスト縮減）
◎社会的損出の防止　◎県民の理解

２）計画の策定
①橋長15m以上（H21年度）
②橋長15m未満（H24年度）

SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

4．佐賀県橋梁長寿命化修繕計画について

3）計画内容

①橋梁毎に定期点検及び修繕年次を計画【公表】

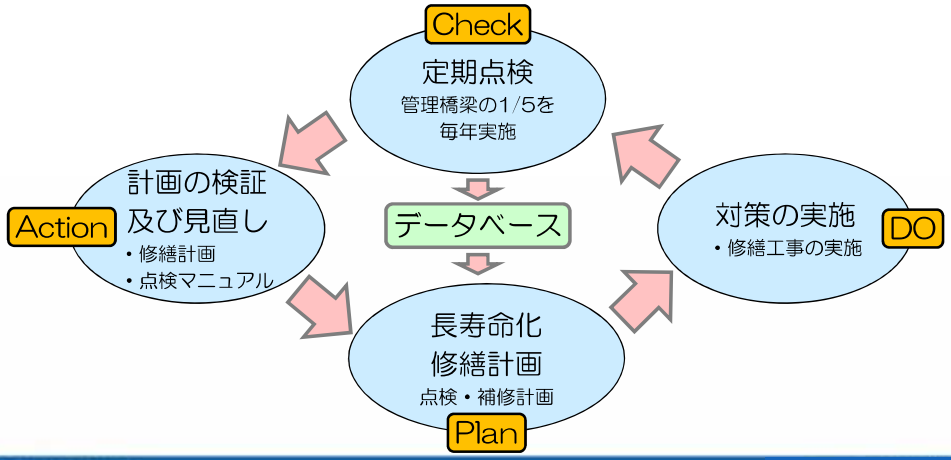
②長寿命化を目的とした予防的（こまめ）な修繕を計画

③財政への圧迫を避けるため修繕費を平準化した計画（11～13億円/年）

※計画は10年計画で、学識経験者等で構成された委員会を開き
専門的なご意見をいただき策定している。

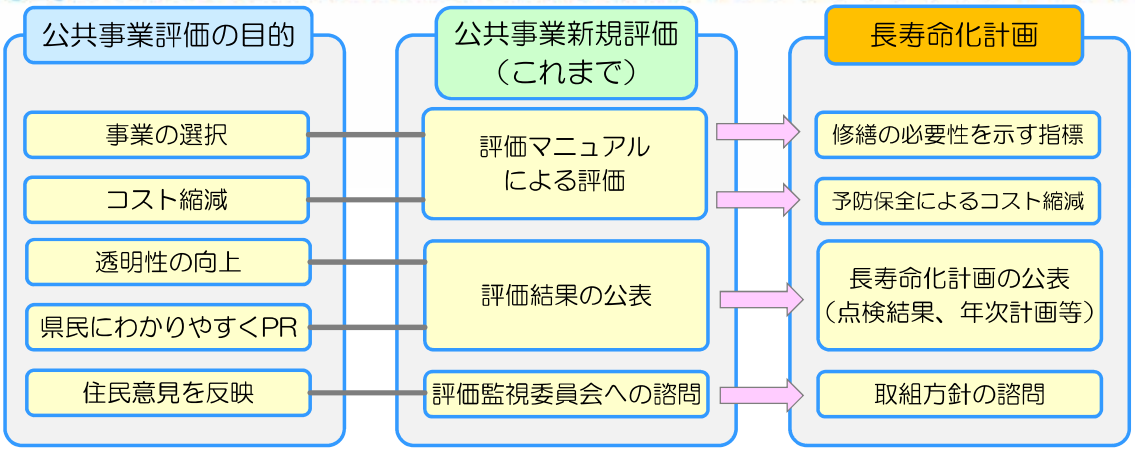
※定期点検は、各橋梁5年に1度のペースで実施（490橋/年）する。

※定期点検が一巡した程度で計画等の検証及び見直しを行う。



SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

5．長寿命化修繕計画に基づく維持管理への移行について



橋梁の維持管理にあたっては、個々の橋梁によって構造や重要度の違いがあり、専門的意見が必要なため、学識経験者等を中心とした佐賀県橋梁長寿命化修繕計画検討委員会において計画を策定した。

今後は、新規評価マニュアルによる評価から橋梁長寿命化修繕計画に基づく維持管理へ移行することとしたい。

SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

修繕の必要性を示す指標について

◎定期点検（健全度評価）について

各部材について状態の評価（健全度判定）を行っています。

【健全度とは】

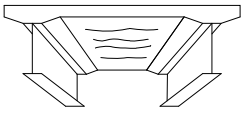
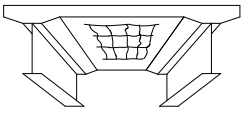
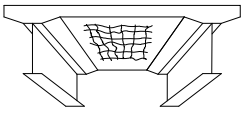
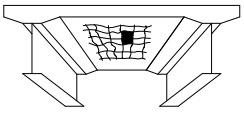
損傷の程度を基に数値化した指標。

健全度＝１００－Σ損傷評価点

0～100で表現し、損傷がなければ100で、発生している損傷の状態に応じて減点される。

【健全度イメージ】

コンクリート床版の場合

健全度≧80	健全度≧60	健全度≧４０	健全度＜20
			
一方向ひび割れ	格子状ひび割れ	ひび割れの網細化	抜け落ち
修繕の必要がない状態	一般通行には影響なく、抜本的な補修が必要ない状態	一般通行には影響ないが、放置しておくと加速的に損傷が進展するため予防的な修繕が望ましい状態	通行障害が生じる可能性があり抜本的な補修が必要な状態

◎維持管理目標（客観的な指標）

◆橋長１５m以上：健全度60以上を確保する（すべての部材）

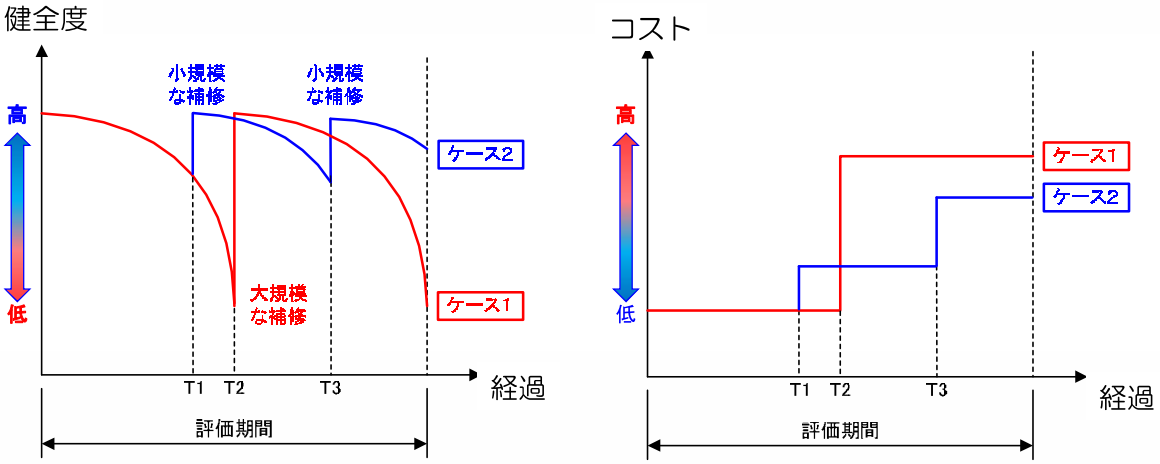
◆橋長１５m未満：健全度40以上を確保する（コンクリート部材）

健全度60以上を確保する（鋼部材）

SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

予防保全によるコスト縮減について（１）

◎予防保全型修繕（こまめな修繕）のイメージ



ケース１：対症療法的修繕

ケース２：予防保全型修繕

SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

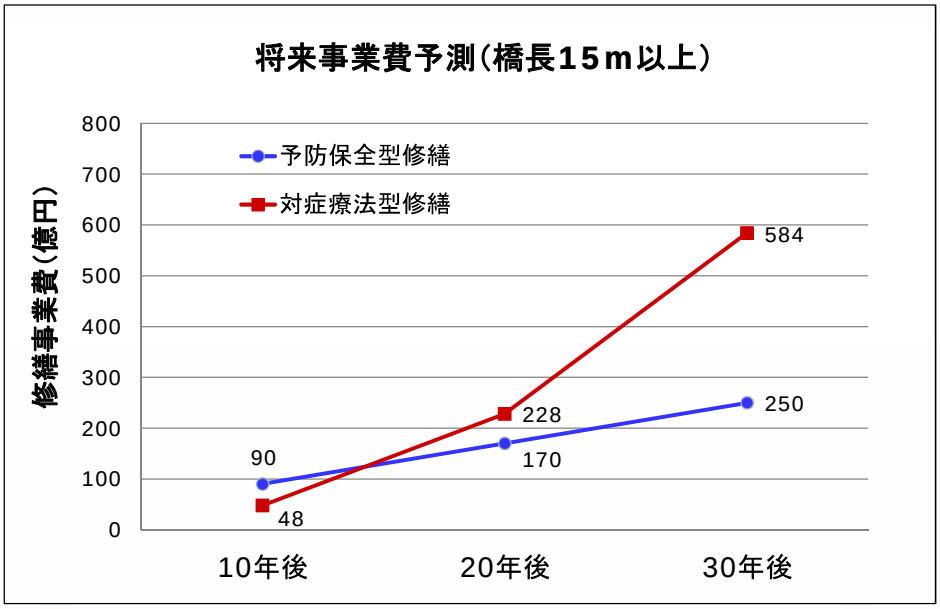
予防保全によるコスト縮減について（２）

◎コスト縮減効果（３０年間予測）

◆橋長１５ｍ以上（669橋）

584－250＝334億円

年間約１１億円のコスト縮減



SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

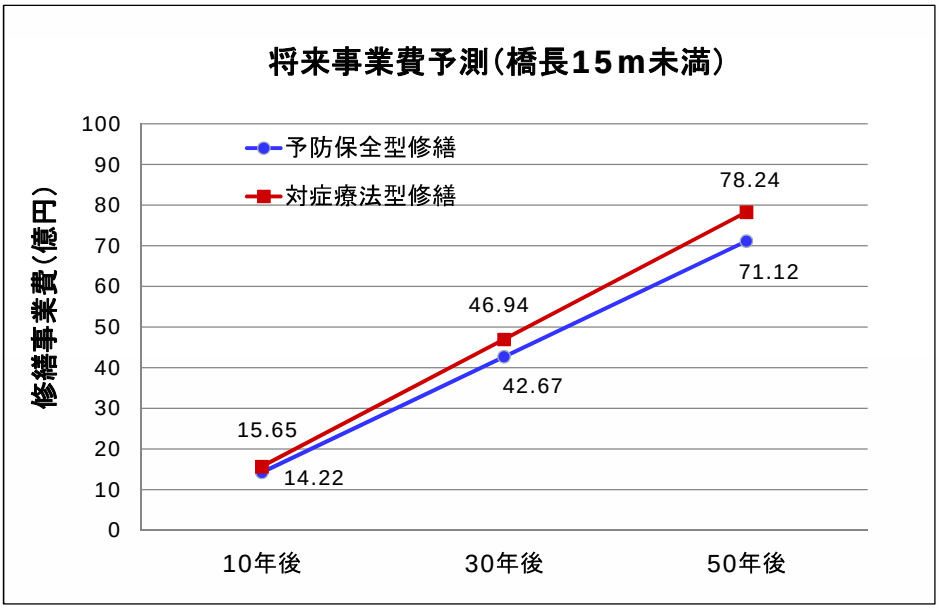
予防保全によるコスト縮減について（３）

◎コスト縮減効果（50年間予測）

◆橋長１５ｍ未満（1,763橋）

78.24－71.12＝7.12億円

年間約1,400万円のコスト縮減



SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT
Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

長寿命化計画の公表について

◎点検結果、修繕時期、修繕内容、事業費等の公表

佐賀県橋梁長寿命化修繕計画【橋長15m以上】（H26.4現在）

橋梁名	路線名	管理土木事務所名	橋長	構造形式	架設年次	供用年数	点検年次	健全度	修繕年度（計画）	修繕内容	事業費（千円）	完了年度（予定）	備考
住之江橋	国道444号	佐賀土木事務所	350m	鋼橋	1955年	58年	H24	56	H26	床版補修	31,200	H27	第1次緊急輸送道路
横武跨線橋	主要地方道佐賀外環状線	神埼土木事務所	162m	PC	1977年	36年	H23	73	H27	耐震補強	83,000	H28	第2次緊急輸送道路
鎌倉水橋	主要地方道武雄伊万里線	武雄土木事務所	22m	PC	2001年	13年	H23	45	H26	躯体補修	8,000	H26	
・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・	・

※公表した計画内容については、毎年実施する定期点検の結果等を基に適宜修正します。

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

取組み方針の諮問について

◎佐賀県橋梁長寿命化修繕計画検討委員会の開催

【平成21年度策定　橋長15m以上橋梁（計5回開催）】

委員	氏名	所属
委員長	荒牧　軍治	佐賀大学　理工学部　都市工学科　教授
委員	石橋　孝治	佐賀大学　理工学部　都市工学科　教授
委員	井嶋　克志	佐賀大学　理工学部　都市工学科　教授
委員	伊藤　幸広	佐賀大学　理工学部　都市工学科　准教授
委員	日野　剛徳	佐賀大学　低平地研究センター　准教授
委員	村岡　輝男	佐賀県　県土づくり本部　唐津土木事務所長
委員	川原　明	佐賀県　県土づくり本部　建設政策監

【平成24年度策定　橋長15m未満橋梁（計4回開催）】

委員	氏名	所属
委員長	荒牧　軍治	佐賀大学　名誉教授
委員	石橋　孝治	佐賀大学大学院　工学系研究科　都市工学専攻　教授
委員	伊藤　幸広	佐賀大学大学院　工学系研究科　都市工学専攻　准教授
委員	日野　剛徳	佐賀大学　低平地沿岸海域研究センター　准教授
委員	鶴田　道雄	県土づくりコンサルタンツ協会　専務理事・事務局長
委員	吉野　猛	県土づくり本部　建設・技術課長
委員	古賀　寛典	県土づくり本部　有明海沿岸道路整備事務所長

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

新規評価マニュアルから公園施設長寿命化計画による維持管理への移行について

【まちづくり推進課】

対象事業：維持系【維持管理事業】都市公園事業

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

○目次

1. 目的

2. 都市公園事業の新規評価マニュアルの現状について

3. 県管理の都市公園について

4. 公園施設長寿命化計画の概要について

5. 公園施設長寿命化計画による維持管理への移行について
　①修繕の必要性を示す指標について
　②予防保全によるコスト縮減について
　③公園施設長寿命化計画の公表について
　④取組方針の諮問について

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

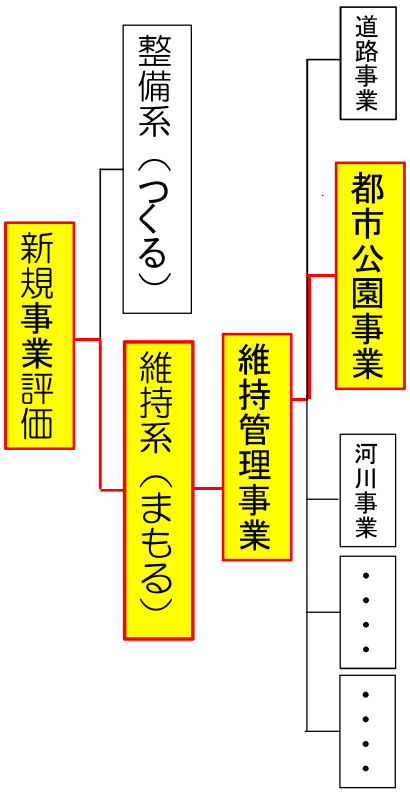
1．目的

佐賀県が管理する都市公園については、平成23年度に樹木を除くすべての公園施設について健全度調査を行い、平成25年度に公園施設長寿命化計画の策定が完了したため、今後、新規評価マニュアルによる事業評価から公園施設長寿命化計画による維持管理へ移行することの説明。

3

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

2．都市公園事業の新規評価マニュアルの現状について



H26当初　評価案件

佐賀城公園　西の御門橋トイレ（S54竣工）

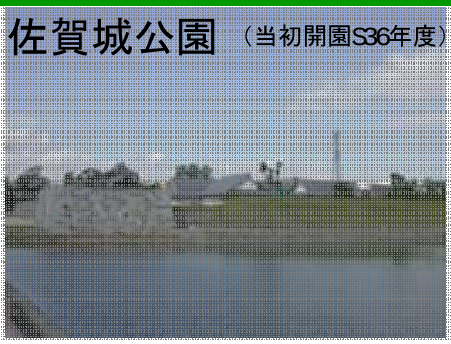
老朽化の現状

4

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

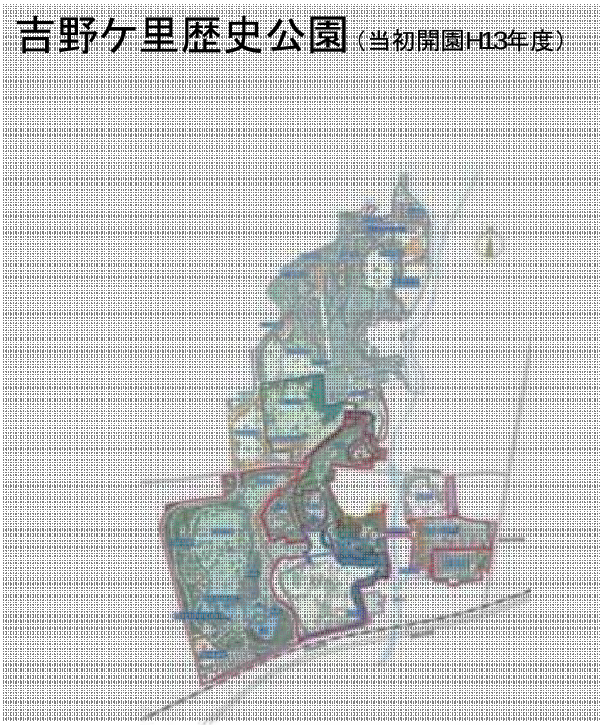
3．県管理の都市公園について

佐賀城公園（当初開園S36年度）



森林公園（当初開園S43年度）

吉野ヶ里歴史公園（当初開園H13年度）



5

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

4．公園施設長寿命化計画の概要について

公園施設長寿命化計画策定の対象施設

公園内には園路広場、修景施設、休養施設、遊戯施設、運動施設、教養施設、便益施設、管理施設など様々な施設が数多くある。

今回、県立公園3公園において樹木を除くすべての公園施設を調査し、公園施設長寿命化計画を策定した。

	園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設	管理施設	合計
吉野ヶ里歴史公園	39	5	100	10	1	2	13	245	415
佐賀城公園	41	2	33	5			17	119	217
森林公園	61	12	70	35	3	10	31	320	542
主な施設	園路、広場、橋梁　等	水路、噴水、モニュメント　等	四阿、ベンチ等	大型複合遊具、健康遊具	野球場、テニス場、アーチェリー場　等	野外ステージ、野鳥観察所　等	トイレ、駐車場等	管理棟、フェンス、照明施設、案内板　等	

（長寿命化計画対象外のもの）

①樹木（剪定、施肥等については指定管理業務で行う）
②消耗品等の交換などの簡易なメンテナンス（指定管理業務で行う）
③公園管理者以外が管理する運動施設、文教施設
　（市村記念体育館、図書館、美術館・博物館、本丸歴史館）

6

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

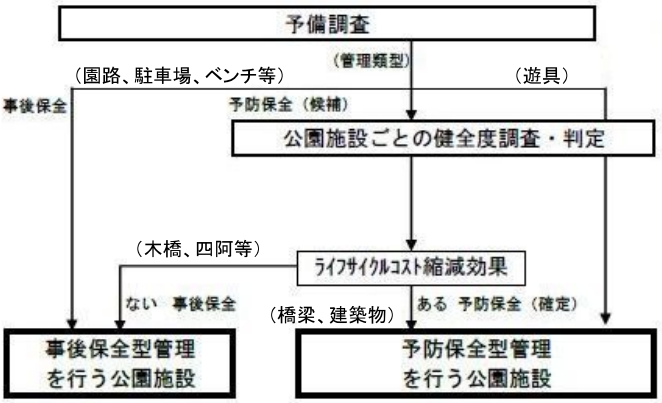
国土交通省の『公園施設長寿命化計画策定指針（案）』に基づき策定

○　長寿命化計画における公園施設の分類

長寿命化計画における公園施設には、劣化や損傷を未然に防止しながら長持ちさせる**『予防保全型管理』**の施設と、機能しなくなった段階で取り換える**『事後保全型管理』**の施設の2種類に分類される。

・予防保全型管理
橋梁、建築物、遊具　等
・事後保全型管理
園路、駐車場、四阿、ベンチ　等

管理類型の検討の流れ



7

佐賀県
Copyright　2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

◎長寿命化計画の基本方針

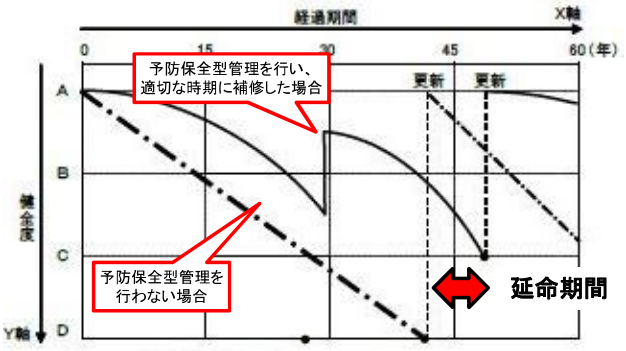
【予防保全型管理】

予防保全型管理を行う公園施設は、5年ごとに健全度調査を実施し、**健全度B以上を保つために、健全度C、Dの施設について適切な補修や※更新を実施し**、施設の延命化、ライフサイクルコストの縮減を図る。

※補修を繰り返し、ライフサイクルコストの縮減が図れなくなった時点で新たに作り変える。

ふわふわドーム（吉野ヶ里歴史公園）

○予防保全型管理のイメージ



※　佐賀城公園などにある設置から数十年経過した公園施設は、既に上記の更新サイクルから逸脱しており、今回の計画策定では早期に補修や更新を行ったのち、計画的な補修（長寿命化計画）に移行することとしている。

8

佐賀県
Copyright　2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

【事後保全型管理】

事後保全型管理を行う公園施設は、求められる機能が確保できなくなる**使用見込み期間（更新サイクル）が過ぎた時点で撤去・更新**を行う。

使用見込み期間は、各施設を構成する主な材質ごとに**処分制限期間（減価償却期間）の1.0倍、1.5倍、2.0倍を見込んで設定している。（指針）**

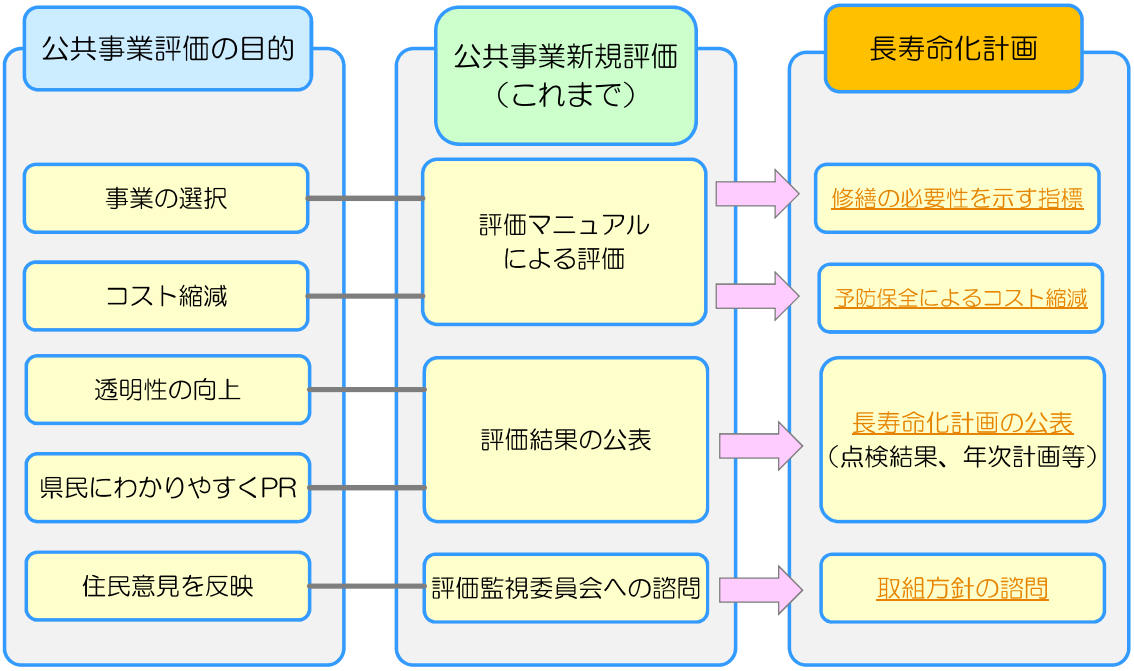
四阿（吉野ヶ里歴史公園）

フェンス（佐賀城公園）

ベンチ（森林公園）

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

5．公園施設長寿命化計画による維持管理への移行について



佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

5ー①修繕の必要性を示す指標について

○健全度および緊急度判定について

【健全度判定】
　健全度調査の結果を基に、公園施設ごとの劣化状況や安全性を考慮したうえで総合的な判定を行う。（予防保全型管理のみ）

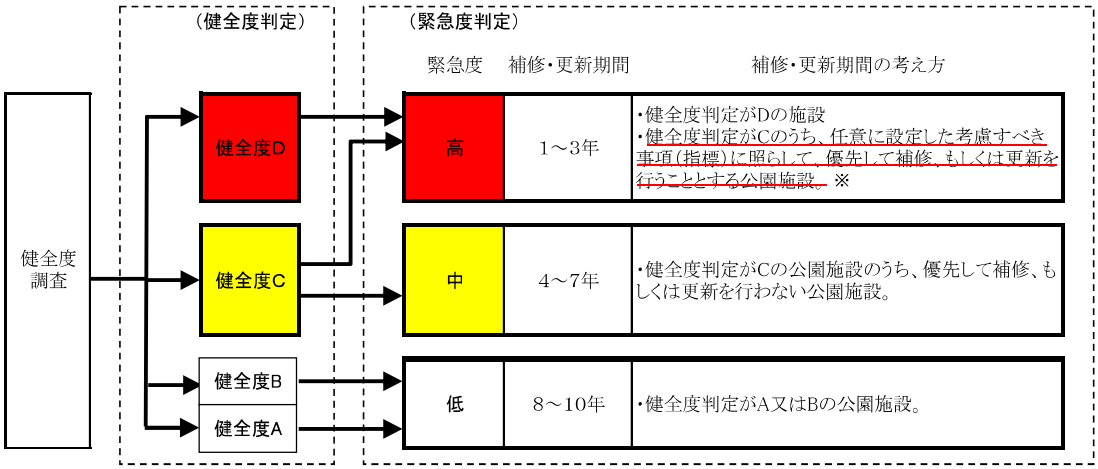
ランク	評価基準
A	・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理する。
B	・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	・全体的に顕著な劣化である。 ・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの。

（評価については、各施設に応じた各種マニュアルに基づき、専門業者が実施）

11

佐賀県
Copyright　2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

【緊急度判定】
　健全度判定に基づき、公園施設の緊急度『高・中・低』を設定し、補修・更新見込み年次を決定する。



※遊具等の施設は、事故防止のための対応が最優先であることから、優先度が高い施設として、健全度が『C』であっても緊急度『高』とする。

12

佐賀県
Copyright　2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

5ー②公園施設長寿命化計画策定におけるコスト縮減結果

○単年度あたりライフサイクルコストの縮減額

（単位：千円/年）

	長寿命化対策を実施しない場合	長寿命化対策を実施する場合	縮減額
吉野ヶ里歴史公園	33,717	30,246	3,471
佐賀城公園	7,111	5,886	1,225
森林公園	106,295	76,958	29,337
合計	147,123	113,090	34,033

※森林公園には野球場があることや、トイレ等の建築物が他の公園より多いことから、単年度あたりライフサイクルコストの縮減額が比較的大きい結果となっている。

13

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

5ー③公園施設長寿命化計画の公表について

（公表する公園施設長寿命化計画の例）

佐賀県公園施設長寿命化計画

公園名	公園施設名	具体施設名	構造	規模等		部位	素材等	設置年度	緊急度判定		管理タイプ	直近の対策年度（予定）	補修更新の別	概算工事費	補修内容
				数量	単位				健全度	緊急度					
吉野ヶ里歴史公園	園路	幹線園路	L=1,847m W=5.5m	9,553	㎡	園路舗装	カラーアスファルト	H12	B	低	事後保全	H30	更新	28,659	
	橋梁	弥生のせせらぎ橋	L=3.8m W=5.9m	1	基	上部工 下部工	コンクリート コンクリート	H9	A	低	予防保全	H35	補修	499	高欄及び床板の取替
	四阿	西口センター前	10.8×10.8 ×H2.8m	1	基	支柱 梁 屋根	木製 木製 平型瓦葺き	H14	D	高	事後保全	H27	更新	18,157	
	複合遊具	大型複合遊具	木製遊具	1	基	支柱 手すり 床	木製 木製 木製	H11	A	低	予防保全	H29	更新	158,567	

【公表する公園施設長寿命化計画の修正】
①公表した計画については、5年おきに実施する健全度調査の結果等を基に、適宜修正を行っていく。
②日常点検、定期点検で施設の異常が発見された場合、その都度、健全度調査を実施し、適宜修正を行っていく。
③使用見込み期間に達した公園施設について、当該年次に異常が発見されない場合は、更新せずに適宜修正を行っていく。

14

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

５－④取組方針の諮問

○外部有識者への意見徴収

実施日：平成26年8月5日（火）
外部機関：インフラ構造物長寿命化研究所

氏名	所属
石橋　孝治	佐賀大学大学院　工学研究科　都市工学専攻　教授
伊藤　幸広	佐賀大学大学院　工学研究科　都市工学専攻　教授

○外部有識者の意見

・健全度調査は5年置きに集中して実施するのではなく、5年間で一巡するように実施した方が点検もいきとどき、調査費の集中を避けられていいのではないか。

○対応

・単年度での調査費の集中を避けるため、隔年度に1公園ずつ健全度調査を行う。

15

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

長寿命化計画は既存施設の単純な維持管理（補修・更新）を行うものであるが、公園の施設については、更新に伴い、施設の改築（機能の向上）、増築もあることから、これらの取り扱いについて以下の通りとする。

◎施設の改築（機能向上）、増築などの変更を伴う場合は、従前の整備系のマニュアルによる事業評価を実施。

（例）
施設の新設（駐車場、テニスコート、遊具の新設　など）
施設の増築（四阿、遊具の規模拡大　など）

◎施設の機能・規模を変更しない単純な更新については公園施設長寿命化計画による維持管理を実施

16

佐賀県
Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

資料　２－１

平成 25 年度 2 月補正予算 新規評価実施箇所数一覧

平成 26 年度当初予算 新規評価実施箇所数一覧

平成 26 年度 6 月補正予算新規評価実施箇所数一覧

１．整備系

２．維持系

平成25年度2月補正予算・平成26年度当初予算新規評価箇所数一覧（整備系）

（様式1）

課名	事業名	評価箇所数										
		検討箇所数	現地機関評価箇所数	事業担当課評価箇所数 事業担当課が評価した件数	本部評価箇所数A 本部が評価した件数	予算化箇所数（A） 本部が事業化を認めた件数 平成25年度2月補正予算箇所数	予算化箇所数（A） 本部が事業化を認めた件数 平成26年度当初予算箇所数	予算見送り箇所数	事業費毎の内訳（Aの内訳） 1千万円以上～5千万円未満	5千万円以上～1億円未満	1億円以上～10億円未満	10億円以上
まちづくり推進課	街路整備交付金事業	5	2	2	2	0	2	0				2
	小計	5	2	2	2	0	2	0				2
農山漁村課	中山間地域総合整備事業	1	0	0	0	0	0	0				
	クリーク防災機能保全対策事業	2	1	1	1	0	1	0				1
	農業用河川工作物応急	2	0	0	0	0	0	0				
	ため池等整備事業	10	7	7	7	0	7	0		5	2	
	湛水防除事業	1	0	0	0	0	0	0				
	海岸保全事業	1	1	1	1	0	1	0			1	
	小計	17	9	9	9	0	9	0		5	3	1
農地整備課	かんがい排水事業	2	1	1	1	0	1	0				1
	経営体育成基盤整備事業	3	2	2	2	0	2	0			1	1
	小計	5	3	3	3	0	3	0			1	2
河川砂防課	河川整備交付金事業	1	1	1	1	0	1	0				1
	河川局部改築事業	1	1	1	1	0	1	0			1	
	通常砂防事業	6	5	5	5	0	5	0			5	
	急傾斜地崩壊対策事業	1	1	1	1	0	1	0			1	
	小計	9	8	8	8	0	8	0			7	1
森林整備課	山地治山事業	32	18	18	18	2	11	5	11	6	1	
	森林環境保全整備事業	2	2	2	2	0	2	0			2	
	森林基盤整備交付金事業	1	1	1	1	0	1	0			1	
	小計	35	21	21	21	2	14	5	11	6	4	
道路課	道路整備交付金事業（社会資本整備総合交付金）	34	6	6	6	0	6	0			5	1
	道路整備交付金事業（防災・安全社会資本整備交付金）	36	8	8	8	1	6	1			7	1
	道路整備交付金事業（原子力発電施設等立地地域特別交付金）	1	1	1	1	0	1	0				1
	地方特定街路整備事業	1	1	1	1	0	1	0			1	
	小計	72	16	16	16	1	14	1			13	3
港湾課	港湾整備費	1	0	0	0	0	0	0				
	小計	1	0	0	0	0	0	0				
合計		144	59	59	59	3	50	6	11	11	28	9
検討箇所数に占める割合			41%	41%	41%	2%	35%	4%	8%	8%	19%	6%

平成25年度2月補正予算・平成26年度当初予算新規評価箇所数一覧（維持系）

（様式1）

課名	事業名	評価箇所数								
		現地機関評価箇所数	事業担当課評価箇所数 事業担当課が評価した件数	本部評価箇所数 本部が評価した件数	予算化箇所数（A） 本部が事業化を認めた件数		事業費毎の内訳（Aの内訳）			
					平成25年度2月補正予算箇所数	平成26年度当初予算箇所数	1千万円以上～5千万円未満	5千万円以上～1億円未満	1億円以上～10億円未満	10億円以上～
まちづくり推進課	公園整備事業	1	1	1	0	1	1			
	小計	1	1	1	0	1	1			
農地整備課	農業水利施設ストックマネジメント事業	2	2	2	0	2			2	
	小計	2	2	2	0	2			2	
道路課	道路整備交付金事業【道路防災】	13	13	13	0	13	4	4	5	
	道路整備交付金事業【舗装補修】	49	49	49	0	49	42	4	3	
	道路整備交付金事業【橋梁長寿命化】	14	14	14	9	5	12	2		
	道路整備交付金事業【橋梁維持補修】	3	3	3	1	2	3			
	道路橋りょう保全費（橋梁保全）【橋梁長寿命化】	3	3	3	0	3	3			
	道路橋りょう保全費（橋梁保全）【橋梁維持補修】	1	1	1	0	1	1			
	小計	83	83	83	10	73	65	10	8	
港湾課	港湾整備費	2	2	2	0	2	1	1		
	小計	2	2	2	0	2	1	1		
合計		88	88	88	10	78	67	11	10	
全箇所数に占める割合			100%	100%	11%	89%	76%	13%	11%	0%

平成26年度6月補正予算　新規評価箇所数一覧（整備系）

（様式1）

課名	事業名	評価箇所数									
		検討箇所数	現地機関評価箇所数	事業担当課評価箇所数 事業担当課が評価した件数	本部評価箇所数A 本部が評価した件数	予算化箇所数（A）本部が事業化を認めた件数 平成26年度6月補正予算箇所数	予算見送り箇所数	事業費毎の内訳（Aの内訳） 1千万円以上～5千万円未満	5千万円以上～1億円未満	1億円以上～10億円未満	10億円以上～
港湾課	港湾整備費	1	1	1	1	1	0	1			
	小計	1	1	1	1	1	0	1			
合計		1	1	1	1	1	0	1	0	0	0
検討箇所数に占める割合			100%	100%	100%	100%	0%	100%	0%	0%	0%

平成26年度6月補正予算　新規評価箇所数一覧（維持系）

（様式1）

課名	事業名	評価箇所数							
		現地機関評価箇所数	事業担当課評価箇所数 事業担当課が評価した件数	本部評価箇所数 本部が評価した件数	予算化箇所数（A） 本部が事業化を認めた件数 平成26年度6月補正予算箇所数	事業費毎の内訳（Aの内訳）			
						1千万円以上5千万円未満	5千万円以上1億円未満	1億円以上10億円未満	10億円以上～
まちづくり推進課	公園整備事業	3	3	3	3	2	1		
	小計	3	3	3	3	2	1	0	0
港　湾　課	港湾整備費	3	3	3	3	1	1	1	
	小計	3	3	3	3	1	1	1	0
合計		6	6	6	6	3	2	1	
全箇所数に占める割合			100%	100%	100%	50%	33%	17%	0%

資料　２－２

平成 26 年度 6 月補正予算 新規評価実施箇所一覧表・調書

（整備系）

平成26年度6月補正予算 新規評価箇所検討一覧表（整備系）

様式２

担当課 港湾課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等（路河川・地区名）	施工箇所			事業概要	評価			判断	予算化等状況	総事業費（百万円）	H26(25)年度事業費（百万円）	完成予定年度	備考
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境						
1	港湾	生活関連	港湾整備事業	唐津港（大島地区）	唐津市		海岸通り	散水施設設置	A	B	A	I	H26.6月補正	48	48	H26	H24年度に設置完了した飛砂防止フェンスの効果を検証中であり、その結果を踏まえた上で今後の対応を検討する。

(様式 3)

公共事業新規評価調書 (整備系)

本部名 部 名	交通政策部	記 入 責任者	港 湾 課	課 長	田﨑 茂樹
			唐津土木事務所	所 長	山下 孝一

事 業 区 分	港 湾 生活関連事業	事 業 名	地区名等	総事業費	48百万円
		港湾整備事業	唐津港 (大島地区)		

事 業 地	着工予定年度	完成予定年度
唐津市西大島町地内	平成26年度	平成26年度

事 業 目 的	事 業 内 容
唐津港においては、大島地区に砂の取扱いを集約している。周辺は住宅地が密集しており、砂置き場から住宅地へ砂が飛び、住民からの苦情が多い。このため、風上から砂山に散水して砂の舞い上がりを減少させ、飛砂防止を図ることを目的としている。	事業延長　L=400m 散水施設設置　L=400m

評価の視点	評 価 内 容		評 価
(1) 位置づけ	伊万里港・唐津港の整備及び利活用促進	10	A
	・港湾法上の計画の位置付けが有る施設。(重要港湾)	60	
	・地域の振興に大規模に寄与する。	10	
	・プロジェクトや、他事業との関連がない。	0	
	計	80	
(2) 必要性・効果	・費用対効果 (1.0 以上～2.0 未満)	40	B
	・港湾環境整備施設の不足	20	
	・基準等は満足している	0	
	計	60	
(3) 実施環境	・事業に対して協力的で、漁業補償・用地買収等の調整が図られている。	60	A
	・協議会等の組織はないが、計画に対して協力的である。	20	
	計	80	

評 価	ABA	条 件 等
判 断	I 優先的に事業を実施	特になし。

定性評価調書

○自然環境保全

内　容
特になし。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地･山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内　容
･施工にあたっては、排出ガス対策型の施工機械を使用するなど、大気汚染、水質汚濁等の環境保全対策を講ずる。

※ 大気･水･土壌･地盤環境の保全、ﾘｻｲｸﾙ、文化財、ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内　容
･散水施設設置に伴い発生する建設発生土は、埋戻材として再利用することで、コスト縮減に努め、資源の有効利用を図る。

※ 再生材･発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内　容
･特になし。

※ 特に記述することがあれば記載。

資料　２－３

平成 25 年度 2 月補正予算 新規評価実施箇所一覧表

平成 26 年度当初予算 新規評価実施箇所一覧表

（整備系　予算化見送り）

平成25年度2月補正予算・平成26年度当初予算 新規評価箇所検討一覧表（整備系）【予算化見送り】

番号	課名	種別	事業名	箇所名等（路河川・地区名）	施工箇所			事業概要	評価			判断	予算化等状況	予算化見送り理由（予算化見込み×の場合）
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境			
1	森林整備課	治山	山地治山事業	茅原地区	佐賀市	富士町	鎌原	床固工 1個 山腹工 0.1ha	A	A	A	I	予算化見送り	緊急性など優先順位が高い箇所から予算化。なお、平成26年度中に国庫認証の状況により実施を検討
2	森林整備課	治山	山地治山事業	山副地区	武雄市		東川登町永野	山腹工 0.1ha 落石防護柵工 L=35m ﾓﾙﾀﾙ吹付工 A=788m2	A	A	A	I	予算化見送り	緊急性など優先順位が高い箇所から予算化。なお、平成27年度中に国庫認証の状況により実施を検討
3	森林整備課	治山	山地治山事業	松原地区	唐津市	相知町	伊岐佐	谷止工 1個	A	A	A	I	予算化見送り	緊急性など優先順位が高い箇所から予算化。なお、平成28年度中に国庫認証の状況により実施を検討
4	森林整備課	治山	山地治山事業	中ノ原地区	有田町	有田町	中ノ原	山腹工 A=0.2ha 落石防護柵工 L=25m	A	A	A	I	予算化見送り	緊急性など優先順位が高い箇所から予算化。なお、平成29年度中に国庫認証の状況により実施を検討
5	森林整備課	治山	山地治山事業	町地区	伊万里市		大川町大川野	法枠工 A=1,000㎡	A	A	A	I	予算化見送り	緊急性など優先順位が高い箇所から予算化。なお、平成29年度中に国庫認証の状況により実施を検討
6	道路課	道路	道路整備交付金事業（防災・安全社会資本整備交付金）	国道263号（梅野工区）	佐賀市	大和町	梅野（渡月橋付近）	道路改良L=300m	A	A	B	I	予算化見送り	実施環境について、再度の地元の調整が必要と判断したため

資料　２－４

平成 26 年度 6 月補正予算 新規評価調書

（維持系）

平成26年度6月補正予算 公共事業新規評価調書（維 持 系）

本部・部名	県土づくり本部	課　　名	まちづくり推進課	事業名	公園整備事業
種　　別	都市公園事業	事業区分	維持管理		

事業目的	施工より15年あまり経過し、老朽化した公園施設（外周道路舗装、エントランス広場舗装）を更新、補修することで、利用者の安全性を確保する。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	そ　の　他	

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費（百万円）	完成予定年度	評価視点：位置付け			評価視点：必要性・効果							評価視点：実施環境			評価	判定
		市町村名	大字等			評価指標：実施目的の優先度		計	評価指標：公園施設別の重要度		評価指標：利用度・代替施設		評価指標：老朽化		計	評価指標：利用者等からの要望		計		
						事故防止機能、都市防災、景観・環境保全に関する事業目的の優先度	小計		公園利用に対する対象施設の重要度	小計	対象施設の利用状況	小計	施設及び機器等の点検による老朽化状況	小計		利用者等からの要望状況	小計			
						(100)	(100)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)	(100)	(100)	(100)		
1	吉野ヶ里歴史公園（舗装補修）	神埼市	田道ヶ里	50	H26	80	80	80	60	60	20	20	20	20	100	100	100	100	AAA	I
2	森林公園（舗装補修）	佐賀市	久保田町大字徳万	30	H26	80	80	80	60	60	20	20	20	20	100	100	100	100	AAA	I

平成26年度6月補正予算 公共事業新規評価調書（維 持 系）

本部・部名	県土づくり本部	課　　名	まちづくり推進課	事業名	公園整備事業
種　　別	都市公園事業	事業区分	維持管理		

事業目的	設置より十数年経過し、老朽化した公園施設を更新することで、利用者サービスの向上を図る。 更新とあわせて、屋根を整備することにより、避雷時などの避難場所を確保する。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	そ　の　他	

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費（百万円）	完成予定年度	評価視点：位置付け			評価視点：必要性・効果							評価視点：実施環境			評価	判定
		市町村名	大字等			評価指標：実施目的の優先度		計	評価指標：公園施設別の重要度		評価指標：利用度・代替施設		評価指標：老朽化		計	評価指標：利用者等からの要望		計		
						事故防止機能、都市防災、景観・環境保全に関する事業目的の優先度	小計		公園利用に対する対象施設の重要度	小計	対象施設の利用状況	小計	施設及び機器等の点検による老朽化状況	小計		利用者等からの要望状況	小計			
						(100)	(100)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)	(100)	(100)	(100)		
3	吉野ヶ里歴史公園（水洗い場改修）	神埼市	田道ヶ里	30	H26	90	90	90	60	60	20	20	10	10	90	100	100	100	AAA	I

平成26年度6月補正予算 公共事業新規評価調書 （維 持 系）

様式3－2

本部・部名	交通政策部	課　　名	港湾課	事　業　名	港湾整備費
種　　別	港　湾	事　業　区　分	維持管理		

事業目的	大島地区の泊地が経年変化により埋没し、干潮時には船底が接触する状態になっている。 事故の未然防止および機能回復を図るため、浚渫を行いたい。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	そ　の　他	

注）（　　）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費（百万円）	完成予定年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境							評価	判断
		市町村名	大字等			評価指標：危険度判定（施設の現況）		評価指標：危険度判定（機能判定）		計	評価指標：構造上の課題		評価指標：利用度の頻度			評価指標：利用への支障度		評価指標：地元関係者・利用者の協力要請		評価指標：代替施設の有無		計		
						目視による破損個所の有無及び、錆の割合、土砂の堆積状況	小計	施設の機能	小計		港湾の施設の技術上の基準等との適合	小計	当該施設利用の実績	小計		損個所が多く利用に与える支障度割合い	小計	地元関係者・利用者の協力・要望	小計	施設の代替施設が有るのか	小計			
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
1	唐津港（大島地区）	唐津市	西大島	35	26	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	60	60	20	20	20	20	100	AAA	I

平成26年度6月補正予算 公共事業新規評価調書 （維 持 系）

様式3－2

本部・部名	交通政策部	課　　名	港湾課	事　業　名	港湾整備費
種　　別	港　湾	事　業　区　分	維持管理		

事業目的	樋門建設後約５０年が経過し、制水ゲートの底版戸当りがコンクリートとの分離により漏水しており、また、招扉戸当り付近のコンクリートに劣化が見られるなど、老朽化していることから、樋門の延命化を図りたい。

定性評価		
	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	そ　の　他	

注）（　　）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費（百万円）	完成予定年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境							評価	判断
		市町村名	大字等			評価指標：危険度判定（施設の現況）		評価指標：危険度判定（機能判定）		計	評価指標：構造上の課題		評価指標：利用度の頻度		計	評価指標：利用への支障度		評価指標：地元関係者・利用者の協力要請		評価指標：代替施設の有無		計		
						目視による破損個所の有無及び、錆の割合、土砂の堆積状況	小計	施設の機能	小計		港湾の施設の技術上の基準等との適合	小計	当該施設利用の実績	小計		損個所が多く利用に与える支障度割合い	小計	地元関係者・利用者の協力・要望	小計	施設の代替施設が有るのか	小計			
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
2	伊万里港（瀬戸地区）	伊万里市	瀬戸町	71	26	50	50	20	20	70	40	40	40	40	80	60	60	20	20	0	0	80	BAA	I

平成26年度6月補正予算 公共事業新規評価調書 （維 持 系）

様式3－2

本部・部名	交通政策部	課　　名	港湾課	事　業　名	港湾整備費
種　　別	港　湾	事　業　区　分	維持管理		

事業目的	当該航路では泥土堆積が進んでいて、干潮時においては船舶の通行可能幅が狭く船舶の通行に支障を来している状態であるため、航路の浚渫を行い、船舶の安全確保を図る。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	そ　の　他	

注）（　　）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費（百万円）	完成予定年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境							評価	判断
		市町村名	大字等			評価指標：危険度判定（施設の現況）		評価指標：危険度判定（機能判定）		計	評価指標：構造上の課題		評価指標：利用度の頻度		計	評価指標：利用への支障度		評価指標：地元関係者・利用者の協力要請		評価指標：代替施設の有無		計		
						目視による破損個所の有無及び、錆の割合、土砂の堆積状況	小計	施設の機能	小計		港湾の施設の技術上の基準等との適合	小計	当該施設利用の実績	小計		損個所が多く利用に与える支障度割合い	小計	地元関係者・利用者の協力・要望	小計	施設の代替施設が有るのか	小計			
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
3	住ノ江港（芦刈工区）	小城市 白石町	芦刈町 福富	170	H26	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

資料　３－１

平成 25 年度　事後評価対象箇所一覧

（対象事業：平成 19 年度事業完了分）

平成25年度　事後評価対象箇所調査表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
1	街路事業	緊急地方道路整備事業（交付金）	鹿島駅城内線外１線（井手西葉線）	鹿島市大字高津原地内	当初	H10～H18	当初	1,750,000	鹿島駅城内線（さくら通り） 現道拡幅　L=130.0m、W=16.0m 井手西葉線 現道拡幅　L=273.0m、W=20.0m	まちづくり推進課 街路・区画整理担当
					完了	H10～H19	完了	2,368,000		
2	農業農村整備事業	中山間地域総合整備事業	三瀬	佐賀市三瀬村三瀬	当初	H15～H19	当初	660,000	農業用用排水　L=5,926m 農道　L=10,667m ほ場整備　A=5.5ha 農業集落道　L=704m 集落防災安全　2箇所 市民農園等　A=0.5ha	農山漁村課 むらづくり事業担当
					完了	H15～H19	完了	606,500		
3	農業農村整備事業	地すべり対策事業	値賀川内2期	玄海町	当初	H11～H19	当初	420,000	杭打工N=144本、水抜工N=97本、 排水路工L=1,170m	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H11～H19	完了	285,120		
4	農業農村整備事業	地すべり対策事業	犬頭2期	唐津市肥前町	当初	H10～H19	当初	539,130	杭打工N=229本、水抜工N=140本、 集水井工N=8箇所、 排水路工L=1,272m	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H10～H19	完了	470,480		
5	農業農村整備事業	ため池等整備事業	新溜	伊万里市	当初	H15～H18	当初	50,000	堤体工L=72m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=520㎡	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H15～H19	完了	50,800		
6	農業農村整備事業	ため池等整備事業	六郎屋第一	唐津市相知町	当初	H16～H18	当初	56,000	堤体工L=55m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=425㎡	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H16～H19	完了	44,600		
7	農業農村整備事業	ため池等整備事業	森下	嬉野市塩田町	当初	H16～H19	当初	130,000	堤体工L=180m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工　1式	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H16～H19	完了	125,520		
8	農業農村整備事業	ため池等整備事業	椎立川下	伊万里市	当初	H16～H19	当初	50,000	堤体工L=58m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=424㎡	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H16～H19	完了	55,700		
9	農業農村整備事業	ため池等整備事業	日南郷	伊万里市	当初	H16～H19	当初	100,000	堤体工L=106m 取水施設工１式 法面保護工A=1,327㎡	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H16～H19	完了	83,000		

平成25年度　事後評価対象箇所調査表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
10	農業農村整備事業	ため池等整備事業	中の川内下	有田町	当初	H16～H19	当初	55,000	堤体工L=88m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=437㎡	農山漁村課 農地防災担当
					完了	H16～H19	完了	51,000		
11	農業農村整備事業	ほ場整備事業	金立東部	佐賀市	当初	H9～H14	当初	2,292,000	区画整理　A＝125.6ha	農地整備課 基盤整備担当
					完了	H9～H19	完了	2,689,734		
12	農業農村整備事業	ほ場整備事業	轟木・幸津	鳥栖市	当初	H11～H15	当初	504,000	区画整理　A＝24.0ha	農地整備課 基盤整備担当
					完了	H11～H19	完了	486,250		
13	農業農村整備事業	地域水田農業支援緊急整備事業	伊万里	伊万里市	当初	H18～H19	当初	105,000	暗渠排水　A＝56.1ha	農地整備課 基盤整備担当
					完了	H18～H19	完了	105,000		
14	農業農村整備事業	一般農道	姉川	神埼市	当初	H16～H19	当初	160,000	農道L=7,533m	農地整備課 基盤整備担当
					完了	H16～H19	完了	157,500		
15	農業農村整備事業	一般農道	有明東	杵島郡 白石町	当初	H17～H19	当初	169,000	農道L=7,295m	農地整備課 基盤整備担当
					完了	H17～H19	完了	160,650		
16	農業農村整備事業	土地改良総合整備事業	上峰	三養基郡 上峰町	当初	H11～H15	当初	1,390,000	用排水施設 L=17,963m農道L=465m	農地整備課 基盤整備担当
					完了	H11～H19	完了	1,149,100		
17	河川事業	総合流域防災事業	高原川	三養基郡基山町 小倉	当初	H3～H12	当初	1,245,000	河川改修　L=710m 橋梁　5基 堰　1基	河川砂防課 治水担当
					完了	H3～H19	完了	1,483,000		
18	砂防事業	通常砂防事業	広滝西川	神埼市脊振町	当初	H12～H14	当初	150,000	砂防えん堤工（不透過型）　N=1基	河川砂防課 砂防担当
					完了	H12～H19	完了	390,000		
19	砂防事業	通常砂防事業	前田川	唐津市七山村	当初	H17～H19	当初	190,000	砂防えん堤工（不透過型）　N=1基	河川砂防課 砂防担当
					完了	H17～H19	完了	135,000		

平成25年度　事後評価対象箇所調査表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
20	砂防事業	通常砂防事業	柚ノ木川	佐賀市大和町	当初	H17～H20	当初	250,000	砂防えん堤工（透過型）　N=1基	河川砂防課 砂防担当
					完了	H17～H19	完了	300,000		
21	砂防事業	通常砂防事業	鳥井の元川	唐津市相知町	当初	H16～H20	当初	190,000	砂防えん堤工（不透過型）　N=1基	河川砂防課 砂防担当
					完了	H16～H19	完了	186,000		
22	砂防事業	急傾斜地崩壊対策事業	中山	伊万里市波多津町	当初	H18	当初	25,000	法面工　1式	河川砂防課 砂防担当
					完了	H18～H19	完了	18,100		
23	砂防事業	急傾斜地崩壊対策事業	中村	佐賀市三瀬村	当初	H18～H20	当初	120,000	擁壁工　1式	河川砂防課 砂防担当
					完了	H18～H19	完了	86,000		
24	治山事業	地域防災対策総合治山	多久原・別府	多久市 東多久町	当初	H12～H16	当初	873,441	治山ダム　13個　流路工　356.6m ｱﾝｶｰ工　19基　法枠工　989.4㎡ 管理道　968.0m　風倒木整理　14.8ha	森林整備課 治山担当
					完了	H12～H19	完了	724,352		
25	治山事業	地域防災対策総合治山	御船山	武雄市	当初	H14～H18	当初	807,700	落石防護柵工　428.1m 岩接着工　106箇所　固定工　11箇所 治山ダム　1個　流路工　15m	森林整備課 治山担当
					完了	H14～H19	完了	775,300		
26	治山事業	水源流域広域保全	栗並	佐賀市 富士町	当初	H17～H19	当初	150,000	治山ダム　4個　流路工　78.8m 本数調整伐　55.1ha	森林整備課 治山担当
					完了	H17～H19	完了	152,500		
27	森林整備事業	森林環境保全整備事業	金立山北	佐賀市	当初	H18	当初	45,000	林道開設　Ｌ＝748m	森林整備課 森林管理
					完了	H18～H19	完了	74,000		
28	森林整備事業	森林環境保全整備事業	大野日当	太良町	当初	H18	当初	20,000	林道開設　Ｌ＝513m	森林整備課 森林管理
					完了	H18～H19	完了	56,700		
29	道路事業	道路改良事業	国道204号 (佐志バイパス)	唐津市神田 ～佐志	当初	S58～H14	当初	10,100,000	道路改良　L=5,250m、W=13.0(25.0)m （暫定2車線）	道路課 幹線道担当
					完了	S58～H19	完了	12,870,000		

平成25年度　事後評価対象箇所調査表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
30	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道444号（永田工区）	小城市芦刈町永田	当初	H12～H18	当初	1,066,000	自歩道整備 L=2,080m、W=6.5（12.0）m	道路課 交通安全・市町村道担当
					完了	H12～H19	完了	1,066,000		
31	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道500号（姫方工区）	鳥栖市姫方町	当初	H12～H18	当初	1,240,000	交差点改良（右折レーン設置） L=820m、W=6.5（15.0）m、 交差点部W=13.0（21.5）m	道路課 交通安全・市町村道担当
					完了	H12～H19	完了	1,375,000		
32	道路事業	交通安全施設等整備事業	坊所城島線（坊所工区）	上峰町坊所	当初	H14～H18	当初	391,000	自歩道整備 L=1,160m、W=6.0（13.0）m	道路課 交通安全・市町村道担当
					完了	H14～H19	完了	438,000		
33	道路事業	交通安全施設等整備事業	北茂安三田川線（白壁工区）	みやき町白壁	当初	H14～H18	当初	240,000	自歩道整備 L=230m、W=6.0（11.0）m	道路課 交通安全・市町村道担当
					完了	H14～H19	完了	240,000		
34	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道204号（名護屋大橋）	唐津市鎮西町名護屋・呼子町殿ノ浦	当初	H17～H18	当初	400,000	自歩道整備 L=420m、W=6.0（9.5）m	道路課 交通安全・市町村道担当
					完了	H17～H19	完了	400,000		
35	道路事業	道路改築事業	大詫間光法停車場線（早津江）	佐賀市川副町早津江	当初	H15～H18	当初	400,000	現道拡幅 L=495m、W=6.0(11.0)m	道路課 地方道担当
					完了	H15～H19	完了	397,000		
36	道路事業	道路局部改築事業	国道207号（浜）	鹿島市浜町	当初	H12～H18	当初	250,000	線形改良 L=180m、W=6.0(12.5)m	道路課 地方道担当
					完了	H12～H19	完了	387,300		
37	道路事業	道路局部改築事業	久間白石線	嬉野市塩田町久間	当初	H16～H17	当初	65,000	線形改良 L=150m、W=5.5(7.0)m	道路課 地方道担当
					完了	H16～H19	完了	85,000		
38	道路事業	地域振興特別道路整備事業	佐賀外環状線	佐賀市諸富町大堂	当初	H12～H15	当初	380,000	現道拡幅 L=750m、W=6.0(11.0)m	道路課 地方道担当
					完了	H12～H19	完了	305,000		
39	道路事業	地域振興特別道路整備事業	坊所城島線	みやき町市武	当初	H9～H15	当初	908,000	バイパス L=330m、W=6.0(11.0)m	道路課 地方道担当
					完了	H9～H19	完了	1,304,000		

平成25年度　事後評価対象箇所調査表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
40	道路事業	地域振興特別道路整備事業	伊万里有田線	有田町大木宿	当初	H10～H16	当初	600,000	バイパス L=950m、W=6.0(11.0)m	道路課 地方道担当
					完了	H10～H19	完了	800,000		
41	道路事業	道路改築事業	坂口藤吉線	みやき町坂口	当初	H18～H20	当初	30,000	現道拡幅 L=500m、W=5.5(7.0)m	道路課 地方道担当
					完了	H18～H19	完了	15,000		
42	道路事業	道路局部改築事業	山本波多津線	伊万里市波多津町津留	当初	H17～H18	当初	60,000	線形改良 L=280m、W=6.0(7.5)m	道路課 地方道担当
					完了	H17～H19	完了	62,000		
43	港湾事業	港湾整備事業費	唐津港 妙見地区	唐津市	当初	H17～H19	当初	263,000	野積場舗装（耐荷重）A=2,250m2 （簡易舗装）A=12,450m2 港湾保安対策　フェンス　L=155m ゲート　N=2箇所	港湾課 計画・整備担当
					完了	H17～H19	完了	261,537		

資料　３－２

平成 25 年度　簡易事後評価結果一覧

（対象事業：平成 19 年度事業完了分）

平成25年度　簡易事後評価結果一覧表

番号	要綱第２対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業効果(波及効果)の発現状況	事業による環境へ影響			施設の維持管理状況	地域住民等県民の意見	改善措置の必要性
						生活環境	自然環境	社会文化環境			
1	街路事業	緊急地方道路整備事業（交付金）	鹿島駅城内線外１路線	鹿島駅城内線（さくら通り） 現道拡幅 L=130.0m、 W=16.0m 井手西葉線 現道拡幅 L=273.0m、 W=20.0m	B	A	A	A	B	A	B
2	農業農村整備事業	中山間地域総合整備事業	三瀬	農業用用排水　L=5,926m 農道　L=10,667m ほ場整備　A=5.5ha 農業集落道　L=704m 集落防災安全　2箇所 市民農園等　A=0.5ha	B	A	B	A	B	A	B
3	農業農村整備事業	地すべり対策事業	値賀川内2期	杭打工N=144本、水抜工N=97本、 排水路工L=1,170m	B	B	B	B	B	B	B
4	農業農村整備事業	地すべり対策事業	犬頭2期	杭打工N=229本、水抜工N=140本、 集水井工N=8箇所、 排水路工L=1,272m	B	B	B	B	B	B	B
5	農業農村整備事業	ため池等整備事業	新溜	堤体工L=72m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=520㎡	B	B	B	B	B	B	B
6	農業農村整備事業	ため池等整備事業	六郎屋第一	堤体工L=55m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=425㎡	B	B	B	B	B	B	B
7	農業農村整備事業	ため池等整備事業	森下	堤体工L=180m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工１式	B	B	B	B	B	B	B
8	農業農村整備事業	ため池等整備事業	椎立川下	堤体工L=58m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=424㎡	B	B	B	B	B	B	B
9	農業農村整備事業	ため池等整備事業	日南郷	堤体工L=106m 取水施設工１式 法面保護工A=1,327㎡	B	B	B	B	B	B	B
10	農業農村整備事業	ため池等整備事業	中の川内下	堤体工L=88m 取水施設工１式 余水吐放水路工１式 法面保護工A=437㎡	B	B	B	B	B	B	B
11	農業農村整備事業	ほ場整備事業	金立東部	区画整理　Ａ＝125.6ha	B	A	B	B	A	B	B

平成25年度　簡易事後評価結果一覧表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業効果(波及効果)の発現状況	事業による環境へ影響			施設の維持管理状況	地域住民等県民の意見	改善措置の必要性
						生活環境	自然環境	社会文化環境			
12	農業農村整備事業	ほ場整備事業	轟木・幸津	区画整理　A＝24.0ha	B	B	B	B	B	B	B
13	農業農村整備事業	地域水田農業支援緊急整備事業	伊万里	暗渠排水　A＝56.1ha	B	B	B	B	A	B	B
14	農業農村整備事業	一般農道	姉川	農道L=7,533m	B	B	B	A	B	A	B
15	農業農村整備事業	一般農道	有明東	農道L=7,295m	B	B	B	B	B	B	B
16	農業農村整備事業	土地改良総合整備事業	上峰	用排水施設 L=17,963m 農道L=465m	B	A	B	B	A	B	B
17	河川事業	総合流域防災事業	高原川	河川改修　L=710m 橋梁　5基 堰　1基	B	B	A	B	B	B	B
18	砂防事業	通常砂防事業	広滝西川	砂防えん堤工（不透過型）　N=1基	B	B	C	B	B	B	B
19	砂防事業	通常砂防事業	前田川	砂防えん堤工（不透過型）　N=1基	B	B	C	B	B	B	B
20	砂防事業	通常砂防事業	柚ノ木川	砂防えん堤工（透過型）　N=1基	B	B	B	B	B	B	B
21	砂防事業	通常砂防事業	鳥井の元川	砂防えん堤工（不透過型）　N=1基	B	B	C	B	B	B	B
22	砂防事業	急傾斜地崩壊対策事業	中山	法面工　1式	B	B	B	B	B	B	B
23	砂防事業	急傾斜地崩壊対策事業	中村	擁壁工　1式	B	B	B	B	B	B	B
24	治山事業	地域防災対策総合治山	多久原・別府	治山ダム　13個　流路工　356.6m ｱﾝｶｰ工　19基　法枠工　989.4㎡ 管理道　968.0m　風倒木整理　14.8ha	B	A	B	B	B	B	B

平成25年度　簡易事後評価結果一覧表

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業効果(波及効果)の発現状況	事業による環境へ影響			施設の維持管理状況	地域住民等県民の意見	改善措置の必要性
						生活環境	自然環境	社会文化環境			
25	治山事業	地域防災対策総合治山	御船山	落石防護柵工　428.1m 岩接着工　106箇所　固定工 11箇所　治山ダム　1個 流路工 15m	B	A	B	B	B	B	B
26	治山事業	水源流域広域保全	栗並	治山ダム　4個　流路工　78.8m 本数調整伐　55.1ha	B	A	B	B	B	B	B
27	森林整備事業	森林環境保全整備事業	金立山北	林道開設　L＝748m	B	B	B	B	B	B	B
28	森林整備事業	森林環境保全整備事業	大野日当	林道開設　L＝513m	B	B	A	B	B	B	B
29	道路事業	道路改良事業	国道204号 (佐志バイパス)	道路改良 L=5,250m、W=13.0(25.0)m （暫定2車線）	B	A	B	A	B	B	B
30	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道444号 (永田工区)	自歩道整備 L=2,080m、W=6.5（12.0）m	B	A	B	A	B	B	B
31	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道500号 (姫方工区)	交差点改良（右折レーン設置） L=820m、W=6.5（15.0）m、 交差点部W=13.0（21.5）m	B	A	B	A	B	B	B
32	道路事業	交通安全施設等整備事業	坊所城島線 (坊所工区)	自歩道整備 L=1,160m、W=6.0（13.0）m	B	A	B	A	B	B	B
33	道路事業	交通安全施設等整備事業	北茂安三田川線 (白壁工区)	自歩道整備 L=230m、W=6.0（11.0）m	B	A	B	A	B	B	B
34	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道204号 (名護屋大橋)	自歩道整備 L=420m、W=6.0（9.5）m	B	A	B	A	B	B	B
35	道路事業	道路改築事業	大詫間光法停車場線 (早津江)	現道拡幅 L=495m、W=6.0(11.0)m	B	B	B	A	B	B	B
36	道路事業	道路局部改築事業	国道207号 (浜)	線形改良 L=180m、W=6.0(12.5)m	B	B	B	A	B	B	B
37	道路事業	道路局部改築事業	久間白石線	線形改良 L=150m、W=5.5(7.0)m	B	B	B	A	B	B	B
38	道路事業	地域振興特別道路整備事業	佐賀外環状線	現道拡幅 L=750m、W=6.0(11.0)m	B	B	B	A	B	B	B
39	道路事業	地域振興特別道路整備事業	坊所城島線	バイパス L=330m、W=6.0(11.0)m	B	A	B	A	B	B	B

平成25年度　簡易事後評価結果一覧表

番号	要綱第２対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業効果(波及効果)の発現状況	事業による環境へ影響			施設の維持管理状況	地域住民等県民の意見	改善措置の必要性
						生活環境	自然環境	社会文化環境			
40	道路事業	地域振興特別道路整備事業	伊万里有田線	バイパス L=950m、W=6.0(11.0)m	B	A	B	A	B	B	B
41	道路事業	道路改築事業	坂口藤吉線	現道拡幅 L=500m、W=5.5(7.0)m	B	B	B	A	B	B	B
42	道路事業	道路局部改築事業	山本波多津線	線形改良 L=280m、W=6.0(7.5)m	B	B	B	A	B	B	B
43	港湾事業	港湾整備事業費	唐津港 妙見地区	野積場舗装（耐荷重）A=2,250m2 （簡易舗装）A=12,450m2 港湾保安対策　フェンス　L=155m	B	B	B	B	B	B	B

平成25年度　簡易事後評価結果分析表

番号	要綱第２対象事業名	地区名又は箇所名	評価項目（C、D）	【C】、【D】評価理由	同種・同類事業への反映のための見直しの必要性の有無（【C】評価のみ）	見直しを行わない理由	課　名
	砂防事業	広滝西川	事業による環境への影響（自然環境） （　C　）	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	無	自然環境への影響が少ない透過型堰堤を標準として事業を進めているが、ダム直下に保全家屋がある場合のみ不透過型堰堤を採用しているため。	河川砂防課
	砂防事業	前田川	事業による環境への影響（自然環境） （　C　）	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	無	自然環境への影響が少ない透過型堰堤を標準として事業を進めているが、ダム直下に保全家屋がある場合のみ不透過型堰堤を採用しているため。	河川砂防課
	砂防事業	鳥井の元川	事業による環境への影響（自然環境） （　C　）	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	無	自然環境への影響が少ない透過型堰堤を標準として事業を進めているが、ダム直下に保全家屋がある場合のみ不透過型堰堤を採用しているため。	河川砂防課

※【C】評価（検討の結果、見直しを行うもののみ）及び【D】評価の分は、公共事業評価監視委員会に諮る。

資料　4

公共事業の効果等について

１．まちづくり推進課

街路事業　【鹿島駅城内線（さくら通り）・井手西葉線】

２．農山漁村課

中山間地域総合整備事業　三瀬地区

３．道路課

道路事業　道路改良事業　国道 204 号佐志バイパス

公共事業の効果等について

資料　４－１

【事業名、地区名、事業概要】

○　事業名：街路事業【鹿島駅城内線（さくら通り）・井手西葉線】
○　路線名又は箇所名：鹿島駅城内線他１線（井手西葉線）
○　事業の概要
　工　　期：平成１０年～平成１９年（明許）
　事 業 費：約２４億円
　事業内容：街路整備[現道拡幅]
　・鹿島駅城内線（さくら通り）　L=130.0m、W=16.0m
　・井手西葉線　L=273.0m、W=20.0m

【公共事業の効果等】

○　交通混雑の解消
○　歩行者・自転車の安全確保
○　良好な都市環境の創出

【事業実施前の状況等】

井手西葉線（国道 207 号）は鹿島市内を貫通する国道で主要な幹線道路であり、鹿島駅城内線（(主)鹿島嬉野線）との交差点においては右左折の交通処理が困難で、朝夕のラッシュ時には交通渋滞が生じている状況であった。また、井手西葉線は JR 長崎本線の肥前鹿島駅の駅前交差点であり、朝夕は鹿島駅城内線も含めて県立鹿島高校や鹿島実業高校の通学生の通学路として利用されている路線であるが、車道 2 車線の整備のみで歩道整備がなされておらず、自動車と歩行者や自転車が輻輳し、大変危険な状況であった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

・　交差点部の車道２車線および右折レーンが確保され、交通処理機能の向上が図られた。
・　肥前鹿島駅の駅前で、県立鹿島高校や鹿島実業高校、鹿島市立西部中学校の通学路となっており、特に交差点部の歩道が整備され、歩行者・自転車の安全が確保された。
・　整備前は幅員が狭く密集した市街地であり、駅、街路整備により、緊急車両の通行等の防災面や土地の利活用について環境改善がみられる。
・　街路樹により沿道を緑化し、景観への配慮をおこなっている。同時に無電柱化を実施し、良好な景観形成が図られている。

(県民の声)
○　交差点の歩道が確保されたことで、朝と夕方には歩行者や自転車の学生が多く、昔に比べたら格段に安全になった。また交差点部が広くなったことで見通しも良くなり車もスムーズに流れている。
○　車道に電柱があり接触事故が昔はあったが、歩道ができ無電柱化も整備されて良かった。
○　新しい街づくりを目指して地域住民が一丸となって事業を進められたので、反対者も無くスムーズにできたと思う。
○　２車線および交差点の右折レーンの確保により、自動車の利用が便利になった。
○　クリスマスの１２月には街路樹にイルミネーションを飾ることで活性化を図っている。今は電飾も LED になり電気代も安いので一年中イルミネーションを飾っている。
○　８月の鹿島おどりでは、車道を踊り手が歩道を観客が移動するので、混雑が無くスムーズな運営がなされている

公共事業に係る効果等について

街路事業

- 鹿島駅城内線（さくら通り）
- 井手西葉線

（まちづくり推進課）

事業概要

鹿島駅城内線他１線（井手西葉線）

〇事業背景

本路線は鹿島市の中心市街地を貫通する幹線道路であり、また、ＪＲ肥前鹿島駅及び鹿島バスセンターと近接していることから、鹿島市の交通の要衝となっていた。

しかし、交差点の右折車線及び歩道が設置されていなかったことから、朝夕の通勤・通学時間帯の交通混雑や自転車・歩行者の交通安全確保が地域の大きな課題であった。

〇事業目的

本事業は、右折車線を含む車道及び歩道の整備により交通混雑の解消と自転車・歩行者の安全を確保するとともに、鹿島駅城内線においては、建築協定と連携した街路樹や街路灯及び電線共同溝を整備することにより、鹿島市の玄関口にふさわしいゆとりある良好な沿道環境を創出することを目的に事業を実施した。

事業概要

○事業名：緊急地方道路整備事業

○箇　所：鹿島市大字高津原

○路線名：鹿島駅城内線他１線（井手西葉線）

○工　期：当初工期：H10～H18　⇒　変更工期：H10～H19(1年延伸)

○総事業費：当初事業費：17.5億円　⇒　変更事業費：23.7億円

○事業内容

鹿島駅城内線（さくら通り）

延長 L=130.0m、幅員 W=16.0m

【事業前】車道２車線(幅員 W=7.5m)

【事業後】車線２車線(幅員 W=9.5m)＋両側歩道(幅員W=6.5m)

井手西葉線

延長 L=273.0m、幅員 W=20.0m

【事業前】車道２車線(幅員W=10.0m)

【改良後】車道２車線(幅員W=11.0m)＋両側歩道(幅員W=9.0m)

事業概要

鹿島駅城内線他１線（井手西葉線）

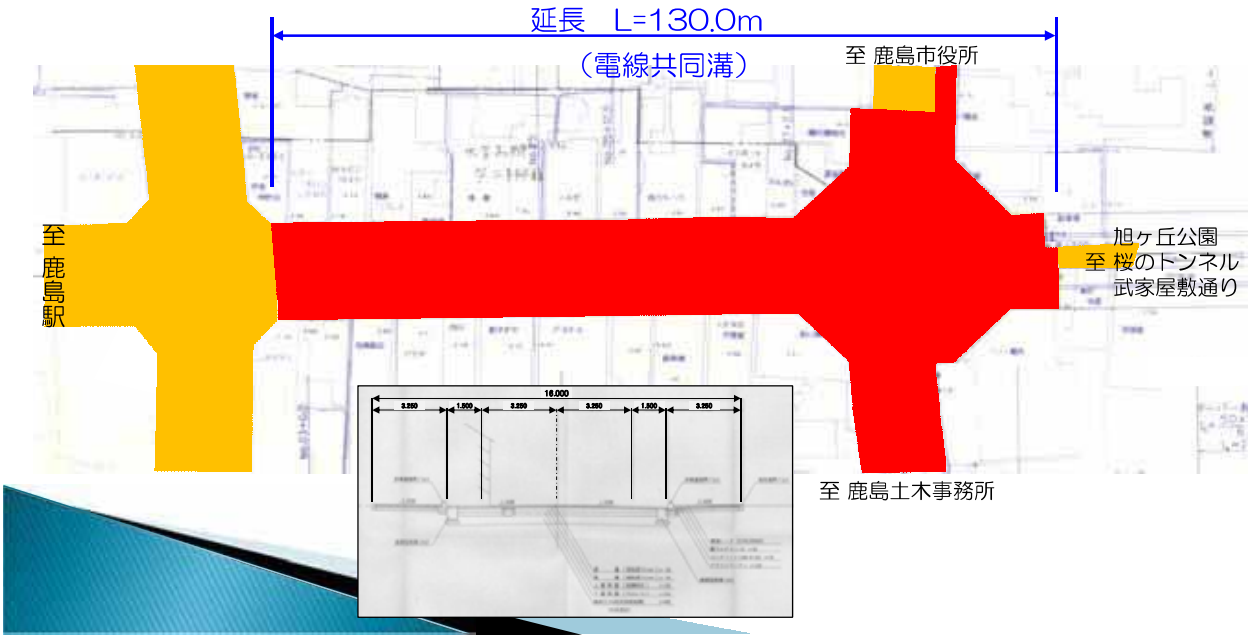
事業概要

○事業内容（鹿島駅城内線）

道路規格：第４種２級

設計速度：V=50㎞/h

道路幅員：W=16.0m（歩道3.25m＋路肩1.5＋車道3.25m＋車道3.25m＋路肩1.5＋歩道3.25m）



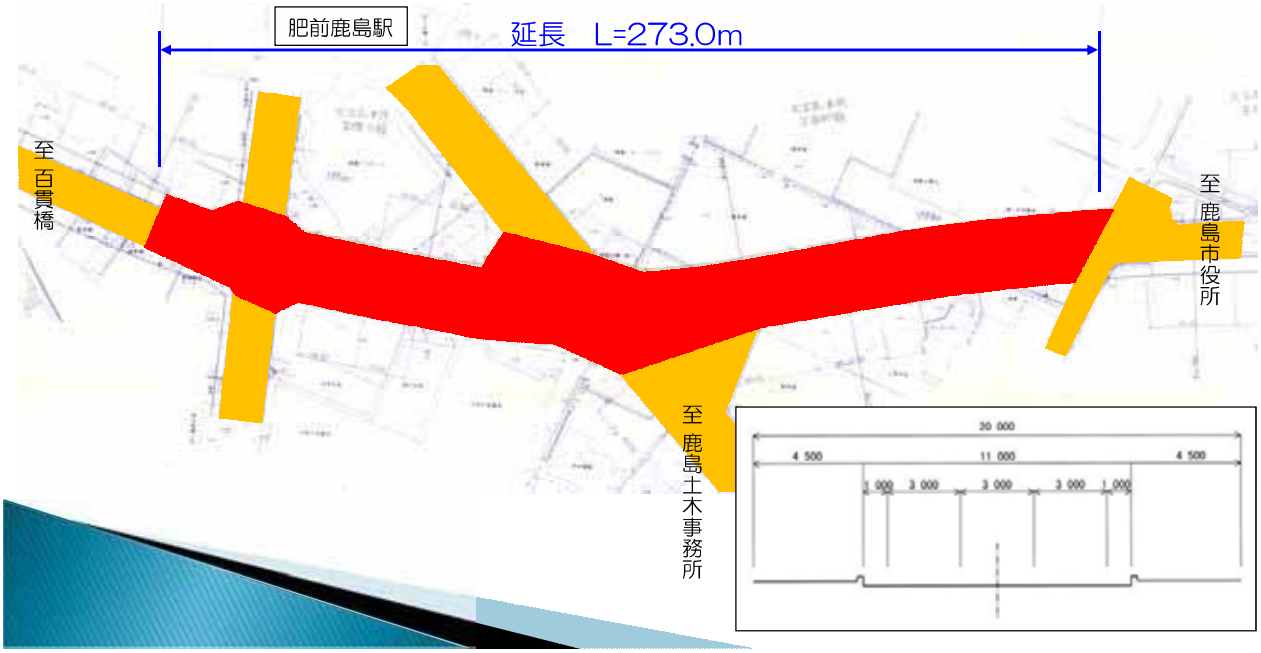
事業概要

○事業内容（井手西葉線）

道路規格：第４種２級

設計速度：V=50㎞/h

道路幅員：W=20.0m（歩道4.5m＋路肩2.0m＋車道3.5m＋車道3.5m＋路肩2.0m＋歩道4.5m）



事業効果（波及効果）の発現状況

【交差点の交通処理】

交差点に右折車線が整備されたことにより、交通処理機能が向上した。

整備前の状況

整備後の状況

事業効果（波及効果）の発現状況

鹿島駅城内線他１線（井手西葉線）

【自転車・歩行者の交通安全】

歩道が整備されたことにより、肥前鹿島駅利用者や鹿島高校、鹿島実業高校、西部中学校の通学生等の自転車・歩行者が安全に通行できるようになった。

整備前の状況

整備後の状況

事業効果（波及効果）の発現状況

【良好な街並みの形成】

街路樹により沿道の緑化により、良好な景観の街並みが形成された。

また、鹿島駅城内線においては、電線共同溝を整備することにより無電柱化を行い、良好な街並みの形成に寄与している。

整備前の状況

整備後の状況

事業効果（波及効果）の発現状況

鹿島駅城内線他１線（井手西葉線）

【その他の効果】

沿線には商店のみならず、銀行や郵便局、病院等があり、これらの利用者の利便性、安全性が向上した。

武家屋敷通り、鹿島城跡「旭ヶ丘公園」に通じる桜並木の「桜のトンネル」へのアクセス道路でもあることから地域の魅力向上に貢献している。

緊急車両の円滑な通行が可能となり、地域生活の安全・安心確保に寄与している。

整備前の状況

整備後の状況

事業による環境への影響

【生活環境】
　歩道の整備で歩行者の安全性が向上したことにより、安心して散歩ができる道路となったほか、車道と建物の離隔が生まれたことにより、交通振動・騒音の低減に寄与している。
　また、街路樹には季節を感じられる落葉樹を選定し、夏場の木陰、冬場の木漏れ日を創出するなど、生活環境の向上に寄与している。
【社会文化環境】
　地域の祭や鹿島おどり等のイベントで道路を使用する際の安全性が向上した。

整備前の状況

整備後の状況

施設の維持管理状況

　管理者である県（鹿島土木事務所）による道路清掃や街路樹の剪定等の維持管理を適宜実施している。
　地元住民等による自主的な除草や落葉等の清掃が行われている。
　維持管理状況に起因する問題は生じていない。

整備前の状況

整備後の状況

地域住民等県民の意見

○交差点の歩道が確保されたことで、朝と夕方には歩行者や自転車の学生が多く、昔に比べたら格段に安全になった。また交差点部が広くなったことで見通しも良くなり車もスムーズに流れている。
○車道に電柱があり接触事故が昔はあったが、歩道ができ無電柱化も整備されて良かった。
○新しい街づくりを目指して地域住民が一丸となって事業を進められたので、反対者も無くスムーズにできたと思う。
○２車線および交差点の右折レーンの確保により、自動車の利用が便利になった。
○クリスマスの１２月には街路樹にイルミネーションを飾ることで活性化を図っている。今は電飾もＬＥＤになり電気代も安いので一年中イルミネーションを飾っている。
○８月の鹿島おどりでは、車道を踊り手が歩道を観客が移動するので、混雑が無くスムーズな運営がなされている。

「松尾紙店、前山薬局」聞き取り含む。

地域のさまざまな活動

≪鹿島おどり≫
　Ｓ３７年大水害の翌年から始まった市民総参加型イベントであり、参加者も観客も一体となって楽しめるイベントとして毎年成長し続けている。

≪ほとめき祭り≫
　鹿島市の中心商店街を元気づけようと地元の町おこしグループ「ほとめき会」がH19年に企画した「秋のほとめき祭り」。
　今は桜まつりに合わせ旭ケ丘公園でも「春のほとめき祭り」が開催されている。

公共事業の効果等について

資料　４－２

【事業名、地区名、事業概要】

○　事業名：　中山間地域総合整備事業
○　路線名又は箇所名：三瀬地区
○　事業の概要
　工　　期：平成１５年度～平成１９年度
　事 業 費：６０６，５００千円
　事業内容：〔農業生産基盤整備〕ほ場整備、農業用用排水路整備、農道整備
　　〔農村環境基盤整備〕農業集落道整備、集落防災施設整備、市民農園等整備

【公共事業の効果等】

○　ほ場の大区画化による農業機械の大型化（省力化・営農経費の節減）、担い手への農地集積、農地の荒廃化（耕作放棄地）の防止
○　水路の整備による用水の安定供給、維持管理の軽減
○　農道の舗装による農作物の荷痛み防止（品質の向上）、維持管理の軽減
○　農村集落の生活利便性及び安全性の向上
○　都市住民との交流などによる地域の活性化

【事業実施前の状況等】

○　農家の高齢化・兼業化が進む中、ほ場が狭小で不整形であり道路・水路が未整備であるため、機械の大型化や農地集積が図れず、農地の荒廃化が危惧されていた。
○　土水路で用水機能が低下しており、補修等の維持管理にも多大な労力を要していた。
○　農道が未舗装で幅員が狭く、出荷に伴う農作物の荷痛みや運搬に支障を来していた。
　また、路面補修や草刈り等の維持管理にも多大な労力を要していた。
○　集落道の幅員が狭く未舗装であったため、緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等に支障を来していた。
○　民家裏の法面が崩壊し、不安定な状態であり、災害の危険性があった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

○　ほ場整備実施地区において機械利用組合を設立し、農業機械の大型化や共同利用が図られており、また、農地の集積も進んでいる。（認定農業者への集積率：(H15)2%→(H25)34%）
○　土水路のコンクリート化により農業用水の安定供給や維持管理の軽減が図られている。
○　農道舗装により農作物の荷痛み防止や維持管理の軽減が図られている。
○　三瀬村全体で野菜類及び花き類の作付けが増加しており、農業生産基盤の整備を行ったことが、増加の一つの要因として考えられる。
　（野菜類：(H12)5.6ha→(H22)15.0ha、花き類：(H12)2.6ha→(H22)6.8ha）
○　集落道の整備（拡幅・舗装）の結果、緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等が可能となり、生活の安全性が向上した。
○　民家裏法面の整備（擁壁工）の結果、法面崩壊が防止され、民家等の安全性が確保できた。
○　体験農園は周辺施設（「やまびこの湯」や「やまびこ交流館」等）と併せて都市住民との交流の拠点となっている。

(県民の声)

○　ほ場の大区画化や水路整備、農道整備を行った結果、兼業農家でも営農が継続できる環境が整った。また、ほ場整備を契機に農業機械の大型化や共同利用を行い、営農の効率化が図られた。
○　農道整備で大型農業機械等の通行が可能となり、農作業の効率化が図られた。
○　農道を舗装したことで集落の一般車両も通行するようになったことから、農家だけでなく非農家も参加して年２回草刈りを行っている。ほぼ全員が参加しており、集落の一体感が生まれた。
○　［体験農園の利用者］三瀬の自然の中、農業体験ができることが素晴らしいと思った。種を蒔いて野菜になるのがこんなに楽しいとは思わなかった。管理人（地元農家）に野菜作りを教えてもらい勉強になった。

公共事業に係る効果等について

中山間地域総合整備事業　三瀬地区

（農山漁村課）

中山間地域総合整備事業の概要

【中山間地域の役割】

中山間地域は、適切な農業生産活動を通じて、**食料の安定供給**はもとより、**県土や環境の保全、水源のかん 養など**、県民の生活基盤を守る多面的機能を有している。

【中山間地域の現状】

中山間地域は、**傾斜地が多く、ほ場が狭小で不整形**であるなど農業生産条件が不利なことから、**生産性が低く**、また、**担い手の減少や高齢化が進行**していることなどから、**耕作放棄地が増加**している。

【事業目的】

中山間地域の特性を活かした農業の展開と豊かで活力ある農村づくりを推進するため、農業生産基盤及び農村生活環境基盤の整備を総合的に実施する。

【事業内容】

○農業生産基盤の整備

（ほ場整備、農業用用排水路、農道、暗渠排水など）

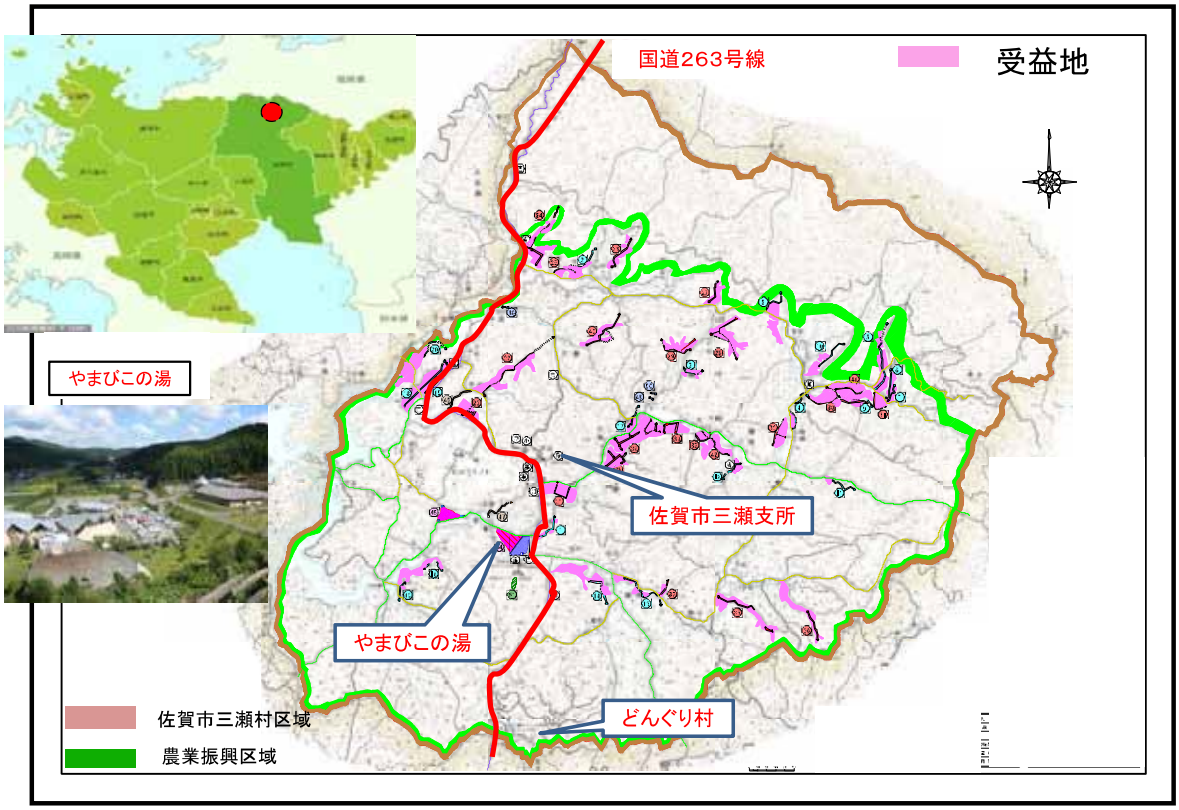
○農村生活環境基盤の整備

（農業集落道整備、農業集落排水施設、集落防災安全（擁壁）など）

地区概要

・事 業 名：中山間地域総合整備事業
・地 区 名：三瀬地区
・所 在 地：佐賀市三瀬村
・工　　期：平成15年度～平成19年度
・事 業 費：606，500千円
・受益面積：132ha（三瀬村の農地の約4割）
・受益者数：254名
・事業内容：［農業生産基盤］
ほ場整備 A=5.5ha（2工区）
農業用用排水路 L=5,926m（20路線）
農道 L=10,667m（22路線）
［農村環境生活基盤］
集落道　L=704m（2路線）
集落防災施設 2箇所
市民農園等　A=0.5ha（1箇所）

位置図



整備前の状況

【農業生産基盤（ほ場・農道・農業用用排水路等）】

- ほ場は狭小不整形であり、道路・水路が未整備であるため、農業機械の大型化や農地集積が図れず、農地の荒廃化が危惧されていた。
- 農道は狭く、未舗装であるため、出荷に伴う農産物の荷痛みや路面補修等の維持管理に多大な労力を要していた。
- 水路は狭く、土水路であるため、用水機能の低下や維持管理に多大な労力を要していた。

【農村生活環境基盤（集落道路・集落防災施設等）】

- 集落道路の幅員が狭く、未舗装であるため、緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等に支障を来していた。
- 民家裏の法面が崩壊し、不安定な状態であり、災害の危険性があった。

［農道の状況］

［農業用用排水路の状況］

［集落道の状況］

ほ場整備の状況及び事業効果

【整備前】

農業機械の大型化や担い手等への農地集積が図れず、農地の荒廃化が危惧されていた。

【整備後】

機械利用組合の設立による農業機械の大型化や農地集積による担い手の育成が図られた。

担い手に農地の集積が図られた。

◆ほ場整備地区における認定農業者の耕作面積推移

	認定農業者数	耕作面積	集積率
H15	1名	0.1ha	2%
H25	2名	1.6ha	34%

※ほ場整備地区耕地面積　4.7ha
※佐賀市聞き取りにより

ほ場整備を契機に機械利用組合が設立された。

◆12区機械利用組合（H18設立）における農業機械保有状況

機械名	規格	保有台数	備考
トラクター	24ps	1	（17ps）
コンバイン	3条刈	2	（2条刈）
畦塗り機	ー	1	
ライムソワー	ー	1	

※備考（　）は、ほ場整備前（個人所有の主なもの）
※佐賀市聞き取りにより

耕作放棄地は減少しており、ほ場整備地区内では発生していない。

◆耕作放棄地面積の推移「農林業センサス」

（単位:ha）

		田	畑	計
H17	県全体	719.2	447.0	1,166.2
	三瀬村	12.9	1.0	13.9
H22	県全体	682.8	437.3	1,120.1（△4%）
	三瀬村	10.1	0.3	10.4（△25%）

※農業経営体（販売農家等）の農地における耕作放棄地（樹園地を除く）
※計の（　%）は、H17との比較割合

農道・農業用用排水路の整備状況及び事業効果

○農道

【整備前】

出荷に伴う農産物の荷痛みや路面補修等の維持管理にも多大な労力を要していた。

【整備後】

農産物の荷痛みが防止され、路面補修等の維持管理の負担が軽減された。

○水路

【整備前】

用水機能の低下や補修等の維持管理にも多大な労力を要していた。

【整備後】

農業用水が安定供給され、補修等の維持管理の負担が軽減された。

農業集落道・集落防災施設の整備状況及び事業効果

○農業集落道

【整備前】

緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等に支障を来していた。

【整備後】

緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等が可能となり、生活の利便性が向上した。

離合状況

○集落防災施設

【整備前】

民家裏の法面が崩壊し、不安定な状態になっており、災害の危険があった。

【整備後】

整備（擁壁工）の結果、法面崩壊が防止され、民家等の安全性が確保された。

体験農園の整備状況及び事業効果

【体験農園利用状況】

都市住民による農作業状況（播種）

○周辺施設（やまびこの湯・やまびこ交流館等）と併せて「都市住民との交流」の拠点となっている。

【体験農園の利用状況】
- 利用者数（H25）：13家族22名（うち市外約85%）
- 作付品目：トマト、なす、ブルーベリーなど
- 作業内容：播種、定植、収穫など

※水やり等の日常管理は地元農家が実施

【来館者数（H25）】（参考）
- やまびこの湯：143，708名
- やまびこ交流館：1，642名

交流館

都市住民と地元農家による農作業状況

【県民（受益者）の意見】

［ほ場整備］
- ほ場の大区画や水路整備（コンクリート）、農道整備（舗装）を行った結果、兼業農家でも営農が継続できる環境が整った。
- ほ場整備を契機に農業機械の大型化や共同化を行い、営農の効率化が図られた。

［農道整備］
- 大型農業機械等の通行が可能となり、農作業の省力化が図られた。
- 集落内の一般車両も通行していることから、農家・非農家で草刈等を年2回行っており、ほぼ全員が参加している。（集落の一体感が生まれた！）

［体験農園］
- 三瀬の自然の中、農業体験ができることが素晴らしいと思った。
- 種を蒔いて、野菜になるのがこんなに楽しいとは思わなかった。
- 管理人（地元農家）に野菜作りを教えてもらい勉強になった。

資料　４－３

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

○　事業名：道路改良事業

○　路線名又は箇所名：国道２０４号（佐志バイパス）

○　事業の概要

工　　期：昭和５８年～平成１９年

事 業 費：約１２９億円

事業内容：道路改良　Ｌ＝５．２ｋｍ

幅員　Ｗ＝１３．０（２５．０）ｍ（暫定２車線）

【公共事業の効果等】

○通行車両の円滑な走行確保

○旧道沿いの生活環境の改善

【事業実施前の状況等】

一般国道２０４号は、佐賀県唐津市を起点として、東松浦半島を循環し、伊万里市を経て長崎県佐世保市に至る延長約１６４ｋｍの幹線道路である。

しかしながら、唐津市の中心市街地の交通混雑の緩和とともに、重要港湾唐津港や玄海国定公園に指定されている東松浦半島へのアクセス機能の向上が求められていた。

このようなことを背景として、唐津市和多田から同市佐志に至る８．３ｋｍの唐津バイパスを計画した。このうち３．１ｋｍの神田バイパスについては、昭和４７年より事業を行い平成６年度に４車線で部分供用した状況でした。

【事業実施後の状況や県民の声など】

バイパス整備及びその端部となる唐房入口交差点の改良により、旅行速度の改善や交通渋滞の緩和に一定の効果が見受けられ、通行車両の円滑な走行確保や旧道沿いの生活環境の改善など、バイパスの整備効果が現れている。

（県民の声）

○通行の時間短縮となった。

○旧道の２０４号の渋滞緩和となった。

○便の良い道路が出来たことによりまちづくりの可能性が広がった。

○両側に視界を妨げるものがないため安全な走行が可能となった。

公共事業に係る効果等について

道路改良事業
国道204号（佐志バイパス）

（道路課）

○事業概要

○事業名　　道路改良事業
○路線名　　一般国道204号（佐志バイパス）
○所在地　　唐津市神田～佐志
○工　期　　昭和58年度～平成19年度
○総事業費　約129億円
○事業内容　道路改良
　　L＝5．2km　W＝13．0（25．0）m（暫定2車線）
○整備前状況
　唐津市の中心市街地では、交通混雑が発生しており、主要渋滞箇所となっている唐房入口交差点を中心としてピーク時間帯の渋滞がみられる。
○道路整備状況
　長松大橋交差点から唐房入口交差点の区間で、市街地を経由した走行と比べて、約7分の時間短縮が得られている。また、開通時（平成19年度）の調査によると、唐房入口交差点付近で、最大約1kmの渋滞長の解消が計測された。

○事業位置

○背景と目的

・唐津市中心市街地の交通混雑
・東松浦半島地域・重要港湾唐津港へのアクセス機能の低下

よって

・通行車両の円滑な走行確保
・物流の効率化の確保
・旧道沿いの生活環境の改善

そのため

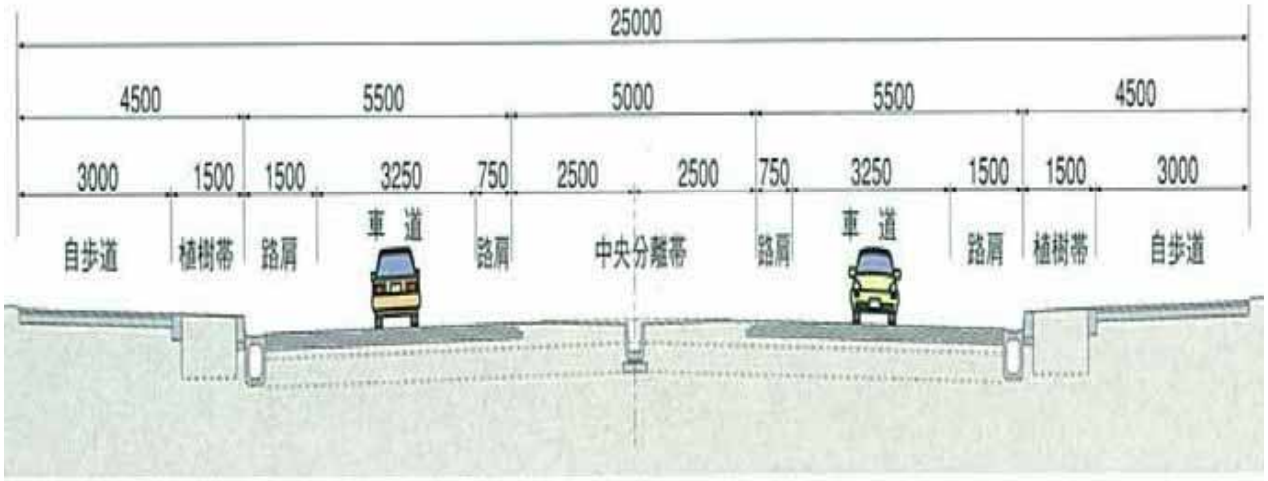
・バイパス道路整備

○整備前（旧道）状況

唐房入口交差点付近で慢性的な渋滞！

市街地での旅行速度の低下！

○整備計画（標準横断図）



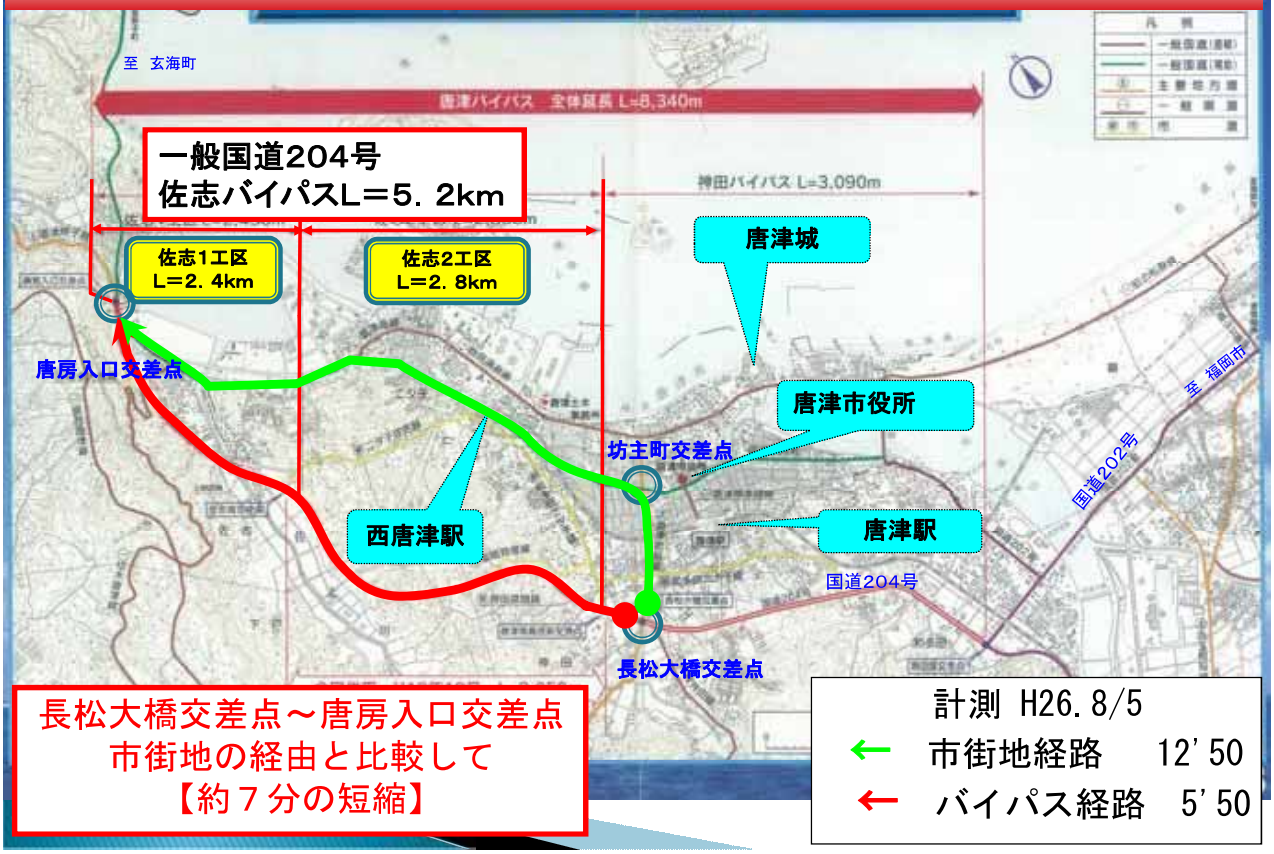
○整備状況写真

〈神田バイパス〉

〈佐志バイパス〉

○整備効果について

佐志バイパスで約7分短縮

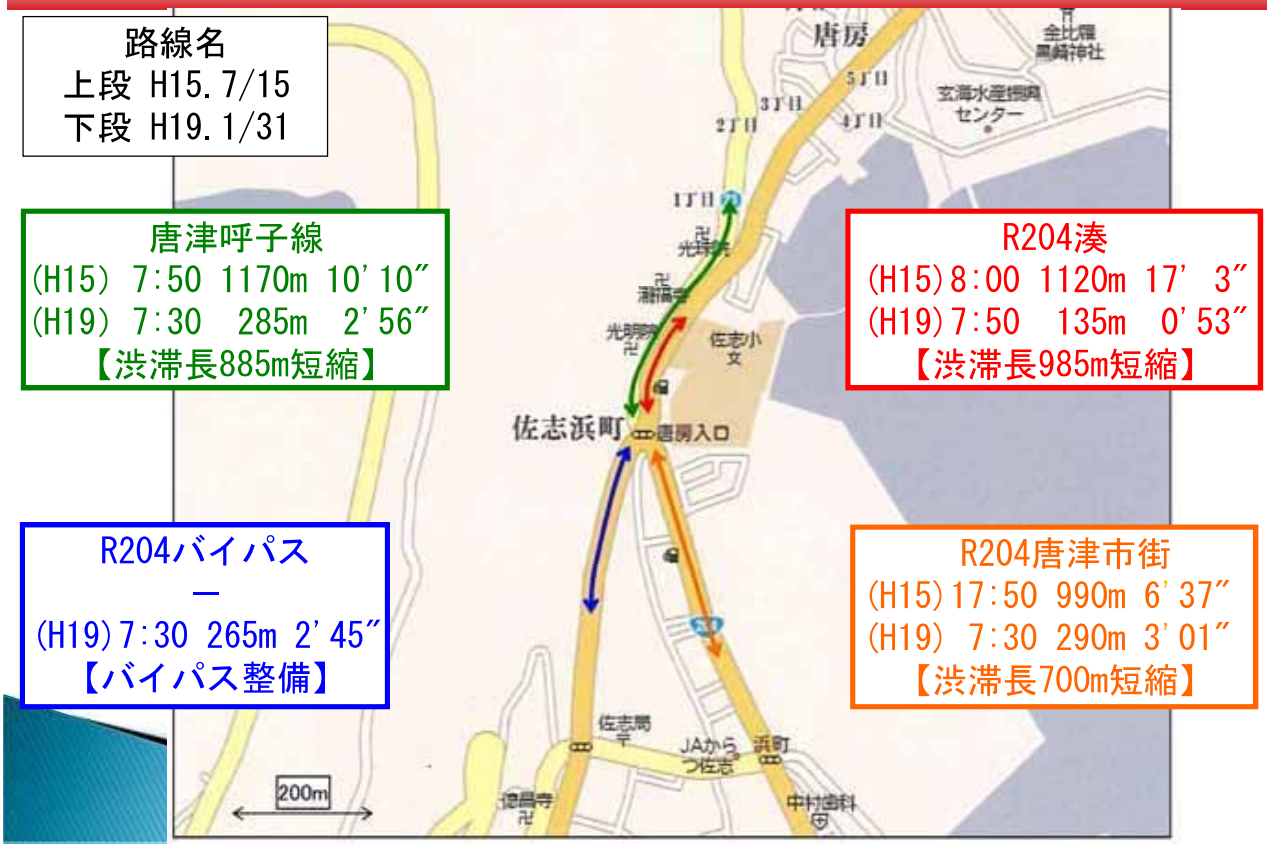


○整備効果について　旧道の交通がバイパスに転換

平日24時間交通量（道路交通センサス）　　単位：台／日

路線名	H11	H17	H22
★ 唐津呼子線（旧204号）	12,486	7,898	6,603
★ 国道204号（佐志バイパス）		9,185	12,512

○整備効果について　唐房入口交差点周辺の渋滞緩和



○県民の意見

【メリット】

○通行の時間短縮となった。

○旧道の204号の渋滞緩和となった。

○便の良い道路が出来たことによりまちづくりの可能性が広がった。

○両側に視界を妨げるものがないため安全な走行が可能となった。

【デメリット】

○旧道付近の商店街ではなくバイパス沿いの大型店舗へ行くようになった。また、バイパスを利用して大型店舗へ行くようになった。